

関大

第583号

平成26年(2014年)9月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

平成26年度校友総会 10月19日(日)に開催
藤井聡京都大学大学院教授・内閣官房参与が講演
平成26年度全国組織代表者会議開く
天神祭・船渡御に「関大丸」9度目の就航

天六キャンパスを売却し、梅田に新拠点を開設
関係者ら350人集いクロージング・セレモニーを挙行
「関西大学国際化戦略2014-2023
TRIPLE I 構想」を策定

9/1 Facebookページを開設しました。

関西大学校友会
団体

いいね! + フォローする シェア ...

タイムライン 基本データ イベント 写真 もっと見る

ユーザー

★★★★★
いいね! 9件

情報

- 関西大学校友会公式Facebookページは、関西大学校友会が運用するFacebookページです。
- <http://www.kandai-koyukai.com/>

写真

【校友会情報】
大阪の夏を象徴する天神祭。本年も奉拝船「関大丸」が就航し、祭を大いに盛り上げました。

関西大学

関大丸

関西大学創立100周年 関西大学校友会



2014 9.1 Facebookページ開設

校友会公式Facebookページを開設いたしました。

校友会公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/kandai.koyukai>

公式Facebookページでは、本会の行事の様子、支部における活動の様子、本学及び学生の活動など様々な情報をお届けします。公式Facebookページを通し、支部同士、校友の皆様同士の“繋がりを”をより一層深めてください。

公式Facebookページへの  **いいね！** をお願いいたします。



2014 9.1 ホームページリニューアル

Facebookページ開設にあわせて、ホームページのリニューアルをおこないました。

校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>

リニューアル後のホームページは、レスポンスWebデザインという手法を取り入れ、パソコン、スマートフォン、タブレットなど様々な端末にあわせ、ストレスなくご覧いただけるデザインになりました。



校友会からの情報を、さらに身近にご覧いただけます。

本部活動

- 2 **平成26年度校友総会 10月19日(日)に開催**
総会・記念講演はBIGホール100、懇親会は凜風館で
藤井聡京都大学大学院教授・内閣官房参与が講演
- 3 **天神祭・船渡御に「関大丸」9度目の就航**
市民に「関西大学創立130周年」をアピール
- 4 **平成26年度全国組織代表者会議開く**
ユニークな活動展開の6支部招きパネルディスカッション

9月1日に校友会Facebookページを開設

ホームページもリニューアル PC タブレット スマホに対応

- 9 **オース！ごきげんさん。(46)**
足で稼いで40年一大坪 信善(上)

大学・学生関係

- 10 **天六キャンパスを売却し、梅田に新拠点を開設**
関係者ら350人集いクロージング・セレモニーを挙行
大学教育再生加速プログラムに選定
全日本学生空手道選手権大会で清水希容が3連覇達成
- 15 **卒業研究で学ぶ社会の厳しさと温かさ—社会学部教授 池内 裕美**
- 16 **「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I 構想」を策定**
- 18 **海外支部だより**
- 20 **北から南から<各地支部だより>**
- 41 **校友トピックス 新刊紹介 訃報 会と催し**



天神祭・船渡御に「関大丸」が9度目の就航

■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



葦の岸

人生何があるかわからない。思いがけなく大病をして、人の有難さ、優しさ、そして強さを更に更に知ることとなった。家族、仲間、友人、知人、いつも誰かに支えられ、勇気づけられ、後押しされて生きている。そして、自分も、これからも、誰かを支え、励ましながらいっぱい生きていけたら、と思う▼40年以上も前、大学を卒業して1年間働いた後、米国留学、どうしても行ってみたくなった。単なる好奇心だったかも。まだ1ドル360円の固定相場場の時。そんな時に「世界は庭先だよ」との言葉に母が承諾。両親の賛成がなければ行っていなかっただろう。のんびりとマイペースで頼りない自分だったから。しかも行先は南部のバトン・ルージュ、ニューオーリンズ、米文化センターで教えてもらったのがこだけだったから▼不思議なことに、大学でとったのが赤井教授のフォークナー。何かがつながっている。1年と少しの間、大学の寮やアパートで、いろんな人にお世話になり、いろんな事を学ぶことによって、何が起きても乗り越えていける自分になった気がしていた▼その時以来の友人がいる、アメリカに、タイに、その他の国にも、この度の大病の時もずっと支えてくれている。母も今は95歳。でもまだ自分のことは自分でできるので、とても助かっている。いや、まだまだ助けられている▼渡米した頃に、FM大阪に流してもらった自分の詩「麦わら帽子かぶってげたをつっかけて歩きたいな…」だったかな、今でもこの気持ちには変わらない。世界のいろんな人と知り合い、本当に今では、世の中も自分も、「世界は庭先だよ」になっている。

関西大学 校友総会

■日時 平成26年10月19日(日)
受付 11:30～ 開会 12:30～

■場所 関西大学千里山キャンパス
第1部 (12:30～14:15)
総 会：BIGホール100(第2学舎4号館内)
第2部 (14:30～15:30)
記念講演：BIGホール100(第2学舎4号館内)
第3部 (16:00～17:00)
懇 親 会：凜風館2階ダイニングホールディノア

■記念講演

「国土強靱化と 関西の未来」

東日本大震災に襲われた日本は今、さらなる恐ろしい巨大地震の危機に直面している。被害総額が、数百兆円規模にまで達することが危惧されている「首都直下地震」と「南海トラフ震災」である。この超巨大震災に立ち向かうためには、日本そのものを、「強靱なしなやかさ」を持つ国にするための様々な対策を進めなければならない。耐震強化、堤防整備のみならず、防災教育、BCPの促進、さらには日本全体の経済成長と国土構造の分散化を、速やかにはじめなければならない。政府は今、こうした認識の下、国土強靱化基本法を制定し、これに基づいた強靱化基本計画を策定し、政府をあげて国土強靱化を進めようとしている。この取り組みは、日本経済活性化に極めて大きな影響を及ぼすと同時に、リニア新幹線の早期開通や大阪を中心とした整備新幹線構想など、関西の未来にも大きな影響を及ぼす。本講演では、金融・財政論も含めた包括的な「国土強靱化論」を、関西の未来ビジョンも見据えつつ論ずる。



ふじい さとし
講 師 藤井 聡氏

京都大学大学院工学研究科(都市社会工学)教授、京都大学レジリエンス研究ユニット長、ならびに第二次安倍内閣内閣官房参与(防災減災ニューディール担当)。

1968年生。京都大学卒業後、同大学助教授、東京工業大学教授等を経て現職。

専門は公共政策論および実践的人文社会科学。文部科学大臣表彰等受賞多数。各種メディア等での執筆活動等で盛んな言論活動を展開。

著書「巨大地震Xデー」「新幹線とナショナルリズム」「レジリエンスジャパン」「プラグマティズムの作法」「社会的ジレンマの処方箋」「列島強靱化論」「土木計画学」等多数。表現者塾(西部邁塾長)出身。

お問い合わせ

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL06-6368-0044 FAX06-6380-8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

天神祭・船渡御に「関大丸」9度目の就航 「関西大学創立130周年」をアピール 留学生や課外活動で活躍の学生など招待

千年の歴史を持ち、日本3大祭に数えられる天神祭。そのクワイマックス「船渡御」が、7月25日夕刻から行われ、約80艘の船が大川を行き交い、祭りを盛り上げた。「関大丸」は今年で9度目の就航。祭りにもすっかり溶け込み、奉拝船の風物詩になっているが、大川の両岸や橋の上で祭りを楽しむ市民に、

今年「関西大学創立130周年」をアピールした。「関大丸」の就航は、校友会の母校創立120周年記念事業の1つとして始められ、その後、天満宮は学問の神様である菅原道真公を祀っており、大阪で生まれ育った大学としてこれに参加することは意義がある、また、大学も天神橋筋商店街と

連携協定を結び社会連携を進めているなど関係が深いと、毎年就航している。

まだ夏の日差しと熱気の残る午後5時半、出航前の開会セレモニーが始まった。先ず、事業部担当の渡邊泰之副会長が開会の挨拶をし、応援団第92代副団長吉田有希さんの指揮で学歌を斉唱。寺内俊太郎校友会長が「今年も関大丸によつて」乗船

くださいました。皆さんで船上から天神祭を大いに楽しませよう」と歓迎の言葉を述べた。

来賓を代表して、池内啓三理事長と吉田栄司副学長が、母校の近況報告を交えて挨拶し、開会のセレモニーを終えた。

乗船者の席に弁当が配布されたところで、事務局から法被やうちわなどの配布セット、飲み物等の説明があり、中で、戦後の都市開発等で枯渇したと見られていた、かつて名泉として親しまれた天満宮境内の地下水「天満天神の水」が、昨年、天神橋筋商店街と関西大学の連携プロジェクト、楠見学長の学術的サポートによって飲料用の良質な水として復活し、天神祭や

七夕神事のお祓いに活用されていること、ペットボトルに詰めて販売が計画されていることの紹介があり、「天神祭に併せて製造されたものを皆さまに1本ずつお配りしています」と説明すると歓声があがった。

弁当を食べ、一息ついたところで、昨年に続き特別招待した25年度卒業式の学部総代だった2人の新校友、留学生2人、全日本速記競技大会で50連覇を達成した文化会速記部主将の山本忠明さんから

体育・文化・学術などで活躍の現役学生6人が紹介され、それぞれが自己紹介し、大きな拍手が贈られた。

ここで、「関大寄席」でお馴染みの校友の落語家・桂三金さん（平8学社）が登場。まず天神祭を祝い、母校益々の発展を祈念して「打ちまーしょ（パンパン）、もひとつせ（パンパン）、祝うて三度（パンパン）」と全員で大阪締めを行い、「さすが皆さん、うまいもんです」とお墨付きをもらい、以後は三金さんの名司会で進められた。

熱気もようやく冷め、電飾が川面に映えだすと、奉拝船各船は順次川岸を離れ、いよいよ船渡御が始まった。



関大丸は、三金さんの呼びかけで、行き交う船や橋の上の見学者と次々と大阪締めで交歓、御奉輦船は2礼2拍手1礼で厳かにお迎えした。途中、応援団の演舞や連続して頭上に上がる大輪の花火に歓声をあげるなど船渡御を堪能し、最後に吉田副団長のリードで逍遙歌を合唱、名残惜しみつつ下船した。

第四回関大寄席 満席となりました

前号でご案内しました10月11日開催の「第四回関大寄席」は、大好評のうちに満席となりました。募集を締め切りましたので、お知らせします。



平成26年度全国組織代表者会議開く 70支部22団体と本部役員ら260人が出席

平成26年度全国組織代表者会議が、7月5日午後1時から100周年記念会館を会場に開催され、台湾OB会をはじめ70の地域支部と職域会・同期会・関係校友会・各種団体など22団体の20人と大学役職者、本部役員など計260人が出席した。

今回は、昨年度、活性化への取り組みを討議した分科会で、活発な支部では若手会や女子会の創設、役員への若手登用、フェイスブックやメールなどSNSの利用促進などが多く報告されたことから、出席者も地域支部を中心に幹事長・事務局長など実務者と青年部・女性部など次世代を担う会員から、各組織3人以内の出席を求め、将来を見据えた組織の活性化に取り組んでいる支部をパネラーに、参加者全員が問題点や改善点を共有できるよう、パネルディスカッション形式で討議が行われた。

代表者会議機に更なる組織の活性化で 母校創立130周年の支援を―寺内会長

第1部セレモニーは、池松知永子組織部副部長の司会で進行。田中義昭副会長が開会の言葉を述べ、学歌を斉唱。来賓紹介の後、寺内俊太郎会長が挨拶に立った。

寺内会長は、「母校関西大学は、130周年に向かって、この6月から具体的なテーマのもとにスタートした。」

我われ校友会としても、本日の組織代表者会議を一つの契機として、更なる組織の活性化を図り、母校の130周年をいかにして物心ともに支えるかということも、一つの大きなテーマ

として取り上げていただければと思っています。

また本日は、台湾OB会の李会長にご講演をお願いした。母校が国際化という大きな目標に向かってスタートして久しくなる。東南アジアをはじめ、いろんな国から多くの学生を留学生として招き入れており、その留学生たちが、今後日本で、あるいは母国でいかに活動するかという実態が見える時代になってきている。そういう中であって、海外を含めた校友会の各支部が、母校の国際化の推進に対していかに協力できるかというこ

とも、我われ校友会の一つの大きなテーマだと思う。

ご講演では、母国に帰った留学生がどういう形で活動をされているか具体的な例をお示しいただき、我われもそれを参考にさせていただき、今後の母校の国際化に対して、何ができるかを考えていただく時間であってほしいと願っている」と、挨拶した。

来賓挨拶で池内啓三理事長は、まず「関大通信」6月号に掲載された「関大生 学生生活の変遷」で30年前との比較を紹介。それによると、授業への出席状況で、30年前は「ほとんど出席している」が10%、現在は81%。「4分の3程度出席している」が、30年前は45%、現在は14%。足すと30年前は55%だったのが、現在の学生は95%出席している。また、家庭からの援助状況は30年前も今も余り変わらない額である、と紹介した。続いて「会長からご案内のように130周年記念事業をスタートさせていただいた。ソフト中心のコンパクトな記念事業にしたいということで、コンセプトとして「伝統への自信 未来への考動」「学縁を世界に広げよう」としました」と述べ、5つの記念事業の概要を説明、「これをやるのに総額40億円、募金目標額を20億円と設定、

様ざまなところへお願いに馳せ参じさせていただきたいと考えているところです。ぜひご理解ご支援を賜りますようお願いいたします」と依頼した。

楠見晴重学長は、「今、関西大学の女子学生は約4割だが、リクルートが毎年約2万人の高校生を対象としたアンケート調査では、関西地区では男女とも志願度、志願したい大学は関西大学がトップで、それも6年連続である。特に女子生徒において、関学、同志社と比べても本学がトップであり、我われにとっては本当にうれしい限りである」と述べ、女子学生の活躍している一つの具体例として、社会学部4年生の前田奈美さんが、一般やプロも応募するラジオCM部門で民間放送連盟賞を受賞したことを紹介した。

また、教員では、道路とか鉄道の防音壁を低くして音を小さくするという技術を世界で初めて発見した環境都市工学部の河井康人教授の業績を紹介。常識の壁を乗り越えていくという内容で駅の広告にも出している。最後に「関西大学には本当に多くの人材、人がいます。校友の皆さまには、ぜひこれからも関西大学の教育・研究に一方ならぬご支援を」と、挨拶した。

大学の国際化について 李台湾OB会長が講演

校友会では、近年、大学の国際化に呼応して海外支部の設立を進めており、各地で校友同士の交流が進んでいる。これら海外支部は、国際インターンシップや留学生の獲得、学生あるいは先生方の研究及び調査活動などにも協力、大学との連携も深まっている。

特に、台湾OB会は、留学生OBが運営する唯一の組織であり、熱心な活動のもと、校友会のみならず母校への多大な支援、協力をいただいている。代表者会議に出席の李銘坤会長に「大学の国際化戦略と台湾OB会の関わり」と題して、講演いただいた。

李会長は、今年4月、梅田の大東洋で台湾留学生の歓迎会が



開催されたときに来日、同席の寺内会長から全国組織代表者会議でのパネラーを要請され、「会長命令で参りました」と経緯を説明、出席者を和ませた後、台湾OB会の活動を例に、関西大学の国際化について概ね次のように述べた。

「関西大学も国際力の強化のために、EU、北京、上海、バンコク、台湾など、海外の大学と提携しているし、オフィスもつくっている。オフィスをつくるのは戦略的にするためです。ただ、実際には、その機能性がどうなっているかはわからないですね。」

特に、私は台湾におります。台湾では、台北の留学生が一番多いし、留学生だけじゃなくて駐在員も多いです。その関係で台北にオフィスをつくらないと困ると思います。

また、毎年、留学フェアが開催されています。もう連続6年くらいになった。台湾OB会は全面的に協力しており、この2年半くらいは、別科を特に勧めています。ただ、私は別科という名前に意見があります。日本人の感覚といわれれば仕方ないですが、外国人には別科ということが分からない。日本語を勉強する場合は、例えば、私が昔ここに来たとき、日本語学校に入った。それは見てすぐ分かります。

難しいのは説明です。みんなから関西大学別科というのは何ですかと聞かれるんです。日本語専門科とか、何か分かりやすい名前にした方がいいんじゃないかと思っています。本来の大学学部、大学院も説明し、もっとそっちにも留学してほしいと思っていますので。

また、後輩の大学生から聞いているのは、関大の別科で勉強するのは、やっぱり関大に行きたーいから。しかし、別科を卒業して関大に入ったのは、よく調べたら35%くらいしかない。専攻の関係で、関大に無いのはしかたない。ただ、試験を受けて落ちたというのも多い。もう少し関大の別科を出た留学生に配慮をお願いできないでしょうか。

それと留学生の就職問題。日本に残って就職したいと希望している留学生は、ほとんど自分で就職先を探している。留学生に対しての就職の部分は、もう少しと力を入れないといけないなと思います。

以上、かなりきついお願いもしましたが、私が感じていることをお話しさせていただきました。時間の関係で、もし聞きたいことがあれば、後でまた質問してください。今日の講演はこれで終わらせていただきます」

講演後、会場からは大きな拍手が贈られた。

ユニークな活動を展開の6支部で 次世代担う若手をパネラーに討議

第2部代表者会議は、組織部の永尾俊一、古屋敷博文役員をコーディネーターに、独自のやり方で成功している6つの支部の幹部・若手にパネラーとして登壇願ひ、パネルディスカッションを行った。

パネラーは、第1部式典で講演いただいた台湾OB会会長・李銘坤（昭56学商）、北九州支部幹事・青年女性部会長・増本光彦（平11学社）、広島支部副支部長・佐久間信（昭54学社）、和歌山支部幹事長・赤井雅哉（昭63学商）、神戸支部常任幹事・なでしこKOB E・小林泰代（平5学経）、尼崎支部幹事・U-40・大倉輝人（平21学商）の各氏。

台湾は小さな島ですが、台北、台中、高雄の3地区に幹事があり、いつでも連絡できるネットワークになっています。

会員への連絡は、LINE、フェイスブック、メールの3つを主に使い、ファックスと私から直接電話連絡することでカバーしています。

年会費はなしです。2カ月に1回例会を開催していますが、毎回の参加費用は台湾円で1000円に抑え、足りない部分は幹事さんの割り勘でいきます。若い人が入りやすいように、例えば女性の初参加者は半額の500円、現役の学生の場合は無料です。それも例会だけではなく、二次会とか三次会まで行くときもある。

本日の討議で何か有益な情報とかを聞いていただいて、支部に何か持って帰っていただける

ものがあればいいなと思っています。

それでは、順次、支部の現状紹介をお願いします。

【李】台湾OB会は設立して27年くらいです。今の会員数は留学生OBが台湾国内で大体150人。それと海外、アメリカとか東南アジアに在住している人も会員になっています。それ以外に、台北関大会といっていた台湾駐在日本人が20人くらいです。

■総会参加者数など 支部の現状について

【永尾・古屋敷】支部が共通の悩みを多く抱えている中で、一番のテーマというところ、若手会

員あるいは女性の発掘であるとか定着であるとか、そういった部分だと思っています。



例会では、今年から誰かが10分くらい、テーマを決めて発表するようにしました。異業種交流にもなっていると思います。

【増本】北九州支部は、最初は関門支部といって、下関と一緒に活動してたんですが、50年前に北九州市ができてまして、それを機に分割して発足し、昨年50周年を迎えました。

私が、支部総会に真面目に出たのは5、6年前からで、ちょうどその頃に青年女性部会を立ち上げるという当時の支部長の強い要望があり、「おまえやれ」ということで、当時、新卒で参加していた10年くらい後輩の子と2人で、対象の160人

程に名簿を見ながら電話をかけたくらいでした。第1回部会に集まったのが11人というところから始まり、今、活動5年目に入りました。

在住校友は400人ほど。その中で年会費20000円の納入者は80人くらい。総会出席者は5、6年前は平均30数人でしたが、昨年は50周年ということもあり、50人近くの出席を得ました。特にここ数年、若手と女性校友の参加が増えており、平成卒も今は15、16人くらいは集まっています。女性も5、6年前は1人2人いるかないないかのところが、今は5、6人はコンスタントに参加という状況になってきています。

【佐久間】広島支部の場合、総会員は約2600人。各種案内を送っている会員が1400人。その内、20000円の年会費納入者が毎年400人前後。その中で総会出席者は、がくつと減りまして70人から80人という状況です。

役員は全部で23人。幹事、監査役を含めて23人で支部運営をしています。この内11人が平成卒です。

【赤井】和歌山支部の創設は古く、50年ほど前には既に活動していました。が、じり貧になり、6年前に私と数人が中心となって再発足させました。和歌山県下

に校友は4千数百人いますが、和歌山市内が3800人で、支部会員は230人前後。総会には70人前後が出席します。

総会出席者の内、平成卒は20%くらいですが、女性はやや少ない。その辺が悩みです。

【小林】神戸市在住校友は1万5000人くらいおられ、その内支部会費納入者は約400人。でも、総会参加者数は120人くらいで、平成卒が1割から2割程度です。

総会以外には、年1回の新年互礼会ですとかゴルフ大会年2回。会として60歳前後の方を中心に「神戸一八会」があり、2年前に立ち上げました「なでしこKOBÉ」という女子会も頑張っています。

【大倉】尼崎支部では、総会出席者は大体100人超です。それから、40歳以下の若手を「U-40（アンダー40）」の部と呼ぶせてもらっており、学生も含めて10人程に参加いただいています。

私自身も、大学1回生の時に総会の案内はがきをもらい、そこから参加しています。夏には総会、秋にはバーベキュー、冬には新年会、忘年会ですかね。それから春には本部主催のスプリングフェスティバルに支部として参加しています。

支部活動に参加して、今年で10年たちました。

■次世代の幹部の発掘と育成について

【永尾】以上、6人のパネライの皆さんです。

今回のテーマは、組織活性化についてということです。組織活性化とは何かというと、若手のもしくは次世代の中心幹部となるメンバーの発掘と育成です。まずは発掘という部分についてお聞きします。

【増本】卒業後2年目に勧誘を受けて総会に出席しました。その時は本当にバンカラ関大の集まりで、「おお」というような世代間のギャップを感じました。20、30人の出席者で、私の父親世代の方が中心で、若手が来ると珍しがられるような感じでした。

私も出席したりしなかったりでしたが、体育会出身ですので、学歌とか逍遙歌を久しぶりにみんなで肩を組んで歌えて、「ああ、来てよかったな」というのはありました。

支部長から、青年女性部会を立ち上げると言われたのは、ちょうど福岡千里会の花田前会長、白木会長らが九州地区の活性化に取り組んでいる時で、非常に活発な活動をされていた。福岡も本当に若手会の活動が盛んで、そういうのにインスパイアを受けたりしながら、見たこともない、会ったこともない人たちに、名簿

を頼りに2人で週末とかを利用して電話をかけました。

対象となる若手と女性には、名簿では160人程いましたが、名簿上は北九州にあるが、本人は大阪とか福岡にいらっしゃるというものが約9割でした。残りの1割の中も、仕事で忙しいとか、興味が無いような反応もありました。最初は11人集まってくれた。

集まってみると、本当に初対面の人たちだったんですが、関大で勉強したということと、今、北九州市とその周辺に住んでいるという、その2つだけで物すごく話が盛り上がり、時間があっという間に過ぎました。じゃあ、次はいつしようか、第1回が2008年の12月でしたので、次は新年会だな、よし、じゃあ新年会をいつしよう、年が明けてまた集まったら、次は3月の花見をしようかというような感じで、だんだん年間スケジュールが決まってきました。

女性の方も含めますから、上は結構幅広い年代がいて、皆さんいろんなネットワーク、経験がありますから、つい聞き入るような話があったりして、やっぱり来てみるとおもしろい。そういう中から、「みんなで総会に行ってみようか」と自発的に声が上がりました。1回行けば顔見知りも増えるし、いろんなつながりもあつたりします。そういう感じ

で、少しずつ輪が広がっていったと感じています。

【大倉】最初の尼崎支部総会への出席は、はがきに関西大学尼崎支部と書いてあるので、変な団体ではないだろうと興味本位で行きました。正直なところ、年齢層もかなり上ということもあり、敷居は高いと感じました。ただ、こうしたところへ参加させていただくことで将来何かしら役には立つなと思いましたので、引き続き参加させてもらって、今の場にも同じく立たせていただいています。

校友会活動をはじめて10年。いま28歳ですので、人生の3分の1以上活動していることになりましたが、総会にコンスタントに出席している若手では、まだ一番下っぱの年かなと思います。友達を呼んでみたりとか、努力はしていますが、なかなか敷居が高いというのが実情で、それをどう解決していくかというのが今後の課題かなと思います。

【永尾】若手会と同時に、最近、活性化されている支部は、女性部会をつくっているところが多いようです。先ほど楠見学長が「関大は現役学生の40%が女性」と話されました。

もう既にバンカラという言葉は死語になっており、今の学生は知りません。その女性校友を、各支部にと

う取り込んでいくか、取り込んでどう活動してもらうか、お聞きします。

【小林】なでしこKOB Eには、神戸支部の女性の幅広い年齢層に集まっていたいています。

私が、神戸支部総会に初めて出席したのは7年ほど前です。せっかく卒業したのに大学とのつながりがなくなるのも何か寂しいなと思って、友達と一緒に行きました。行くと、ここはちょっと場違いだったと思いました。女性性がほとんどおられず、友達とどうしようとか言って、ちょっと飲んで食べて、すっと帰ったんです。それでも同じ平成ー私は5年ですが、8年か9年の女性がおられたので、その方とメール交換とかして、「次どうする?」みたいな感じでした。

そうこうしているうちに、芦屋支部の山本淑子さんが芦屋で女子会をされていることが機関紙に掲載されていて、すごく楽しそうな感じで、神戸支部でも話題になりました。幹事長からも「神戸支部も女子会どうですか」という感じで、2年ほど前に立ち上げました。

総会には男性が多くて、女性会員がなかなか参加しづらい雰囲気になっていて、一度参加しても雰囲気圧倒されて、次は来ないことが多いのが現状です。

それでも女性同士なら気軽に参加もできるし、名刺がないので、みんなで総会に行きましようみたいな感じに将来なっていくたらいいなと思って、なでしこKOB Eを立ち上げました。

今、支部のほうから案内を出していた方がいい方が70人程おられますが、よく来られる方は10人くらいです。年代層は20代から60代まで。お母さんもお嬢さんも関大卒で、親子で女子会に参加してもらったりしています。

そういう和やかな感じなので、あまり決まりがなく、じゃあ会いましょうかみたいな感じで、年に3回程度、幹事も持ち回りで行っています。

■ユニークな活動の実施について

【永尾】総会以外に、ちょっと特殊な、ユニークな活動をされている支部がありますので、紹介させていただきます。

【佐久間】特殊とは思ってませんが、広島支部では2つの活動をやっています。1つは、広島支部三金会といい、毎月第3金曜日に校友が集まって、飲み上げてしゃべり上げようやないかという会です。30年くらい前は不定期にやってきました。20年ほど前から定期的にやるようになり、

総会を実施します8月以外の、年11回開催しています。

これは、卒年、出身地に関係なく、在広島の校友であれば誰でも参加できます。といいますのは、広島というのは支店の町でして、2、3年で転勤される方が多く、広島出身じゃない校友の方もたくさんいますので、そうしました。

実績ですが、2013年度の参加者累計が11回で195人です。1回平均17、18人の参加で、過去20年間に一度でもこの三金会に参加されて登録した校友が45人。そのうち、昭和卒が31人、平成卒が14人です。最年長が昭和30年卒。最年少が平成21年卒。このメンバーが、仕事の関係もあり毎回ということは無理かもしれませんが、集まって談話しています。

この会は役員3人、昭和卒が1人、私です。と平成卒2人で開催店舗を決定し、総会の住所録をもとに案内しています。会費はどこ会場であろうと4000円。大体3時間程やるんですが、その間に出入りは自由です。支部の23人の役員のうち、三金会から役員になった者が11人います。

もう1つが、広島東洋カープとサンフレッチェ広島の応援会です。「カープ応援の夕べ」は、平成10年から定例化し、昨年末

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
NIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生協同組合 Tel: 06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております





では年3回行ってましたが、今年は調子がいいので年4回しました。この会には、家族のお子様同伴OKです。皆さんで利用していただけたらということをやっています。

それと、サッカーのサンフレッチェの応援を年に一度やっています。

【赤井】和歌山支部では「関大カフェ」というのを行っています。和歌山支部ができてほぼ6年ですが、最初は300人近い年会費納入者がいたんですが、年々5%から6%は減っています。それでも今でも2000人は超えています。その中で、総会に参加することがない方が4割ぐらいいます。総会は、会費をできるだけ安くしようというところで、土・日の昼間にしていますが、「昼は行きやんよ」という方が何人かいましたんで、それ

なら夜の会をしたいなど。忘年会、新年会みたいに格式張っては来ないということもあり、会費の面も考えて、喫茶店というのは基本的に夜は売り上げが悪いので、30人は来るから4時間程開けといてと頼みました。その時間帯には、入り口に関大の幟を立て、中では大学の歌を流し続けて、大学の懐かしい写真と現在の写真を並べたパネルを校友会から借りて並べました。OBの方で落研の方がいましたので、落語を何時から何時ぐらいまでするので、ふらつと寄ってくださいというような形で案内しました。

■次世代中心幹部の 定着化について

【古屋勉】今はいろんな仕組みをつくって、いろんな人を発掘していこう、若手、女性を発掘していこうという話だったんで

すが、そしたら具体的にどうやったら定着させていくことができるのか。さらには、定着させていったその次に、次世代校友を役員に登用していく、そういう流れをどうやってたつくっていくのか。そういうことについて、聞かせていただけたらと思っています。

【増本】北九州支部の場合、青年女性部会は支部の下部組織みたいな感じで、今は支部から活動費を2万円頂戴しています。また、懐のあったかい先輩方からも「しっかり頑張ってくれ」と寄付があり、支部はアップアップしていますが、青年女性部会はこちらと裕福に活動できています。

運営では、とりあえず集まってネットワークを広げていこうかというような感じでやっています。とは言いながら、気が付いたら支部の幹事になったりたりしているんですね。その変貌ぶりはやっぱり関大マジックの一つなのかもしれないと思います。

今、20人幹事がいるんですが、その内3分の1は青年女性部会のメンバーです。平成卒がその中で5人います。みんな関大が好きで集まってる人たちがから結局総会にも顔を出して、楽しんだとか、メリットを見出して定着していったというのが結

果ですね。

【小林】神戸では、平成倶楽部がありました。平成17年に平成メンバーが参加しやすいようにということで、50人近くが登録し、約10年間、懇親活動をしてきました。行く行くは神戸支部と同化して解消するという目的で作られ、現在はその主なメンバーが神戸支部の役員となったので、今はありません。常任幹事とか幹事ですとか、若手が担当するに当たって、新役員の欄にいつの間にか常任幹事とか幹事とか書いてあるんですけど、前置きもなく書いてあるので、「あれ？これは先輩方が責任を持ってやれよ」ということなのかなと思います。皆さんそんな感じで、現在は若手で担当しています。

今は、まだまだ諸先輩方がやってこられたとおりに動いているところも多いので、今後は若手のオリジナルなど、新しい企画ができればなと思っています。

【永尾】今日のパネラーの皆さんのお話は、若手側、つまり改革していく側、新しい側からの意見ということで、いろんな創意工夫がありました。

実は、私が感じたのは、改革したいと言っている人たちを見つけて出して、それに任せて活動させて、バックアップされてい

る年配の幹部の方たちの応援ということでした。そして若い感覚を持ったエネルギーな組織づくりができるというのは、ポイントはそのにあるんじゃないかなということに非常に感じました。

今日、全国から集まっていた皆さんに、それぞれの支部で抱えておられる問題点のヒントになる有益なパネルディスカッションになったかなと思っています。

本日は、貴重な時間、どうもありがとうございました。

懇親会でも意見交換

パネルディスカッション終了後、約1時間、100周年記念会館ホールで開催された懇親会でも、参加者は、田中組織部長の開宴挨拶の後、熱心に意見交換や情報交換を繰り返した。



オース!ごきげんさん。

連載 46



金沢市に本社があり、石川、富山両県に日刊紙を発行している北國新聞の記者33年、全国の石川県出身者・縁者向けの月刊誌『加能人』に転職して8年目。この40年余、

人と会って取材し、写真を撮り、編集する作業は一貫して変わっていません。広告取りにも汗をかいていますが、いずれも基本は人と会うこと、モットーは「足で稼げばチャンスは巡る」です。

缶コーヒのキャッチコピーではありませんが、「ろくでもない、この素晴らしき世界」に踏み込むことを決意したのは関大時代でした。中学時代にビートルズ、高校卒業時に作家五木寛之に出会いました。親や学校の先生よりもわが人格形成にマスコミを通じてこの現代の巨匠たちに大きな影響を受けていることに気づき、能動的にマスコミに関わりたと思ったのがきっかけです。

◎ビートルズと五木寛之にかぶれる

82歳になる五木は旺盛な執筆活動を続け、ビートルズのうち、ポール・マッ



▲シンポジウムの司会を務める筆者（右）



▲1972年千里山学舎講堂で開催のシンポ



▲書評機関誌

カートニーは72歳の今も現役。私の精神構造は「ポール五木」と言っても過言ではありません。ポール五木さんがクリエティブな生き方を、マスコミの世界へ飛び込むのに背中を押してくれました。関大生協の書評編集委員会の機関誌に頼まれて「白夜の旅人―五木寛之の世界」を寄稿し、それが縁で同委員会の活動に誘われ、キャンパスで「市民の復権」と題したシンポジウムまで開催しました。「チャップリンの独裁者」という映評も書き、物書きのデビューを飾ったのです。

足で稼いで40年

〈上〉 大坪 信善

す。五木にいかにかぶれていたかは、金沢の社会部記者時代に加賀友禅の模様師だった女性と結婚し、新婚旅行は『青年は荒野をめざす』

行は『青年は荒野をめざす』

にならってシベリア経由でシルクロードに出かけ、『内灘夫人』に登場する内灘町の砂丘地に最初の自宅を建てたことからおよそ推察できるでしょう。

◎多種多様なアルバイト体験

関大生とき、仕送りが少なかったため多種多様なアルバイトを経験しました。豊津にあった場末の映画館で映写技師をやったり、学生援護会の「アルバイトニュース」のガリ版刷り、

割烹料理店の自称「スケ番」の女子中学生相手の家庭教師、十三のラブホテル街のSSや工場の夜警、リゾートを兼ね夏休

みには白馬の村営頂上宿舎へ、北海道の利尻島でユースホステルのヘルパーなど。小田実の『何でも見てやろう』に啓発され、20日間、欧州へ卒業記念旅行にでかけ、行き先々で老若男女を問わず友達できました。これが足で稼ぐベースになったみたいです。

大阪に出稼ぎにきたような日々で、講義にはあまり出席できなかったのです。



▲加賀市山代温泉・魯山人寓居跡いろは草庵にて



が、廣田君美教授（元日本社会心理学会理事長）のフェスティンガーの「認知的不協和理論」を拝聴しました。人の心は常に葛藤する不協和な状態から協和な状態へ向かうとする理論で、対人折衝ばかりか政治家のマッチポンプ的な動きなど取材にも随分と役立ちました。精神科医の老健施設経営者などにこの理論の実践編を語り、気が通じたこともあり、関大で学び、血肉となった唯一の理論といえます。

大坪 信善（おおつば・のぶよし）

全国の石川県出身者・縁者をつなぐ月刊誌「加能人」の主幹・編集長。1951年富山県砺波市生まれ。1974年関西大社会学部（産業社会学専攻）卒業、北国新聞社入社。金沢本社ラ・テ部、社会部、編集部、小松総局・能美支局、富山本社報道部警察担当キャップ、県政担当、砺波総局、小矢部支局長を経て1989年から4年間、東京支社報道部で国会担当、片岡清一郎政大臣、綿貫民輔建設大臣・自民党幹事長担当番記者。1993年から約10年間経済部記者。1996年から富山本社経済部長8年、同学芸部長1年。この間、月1回社説を執筆。「新・人は石垣」「ほくりく21世紀列伝」など担当。金沢本社編集局総合デスク編集委員などを経て2007年2月から現職。金沢市を拠点に全国の石川県人会、同窓会など取材。兄弟誌「富山県人」で「とやま人物一代記」連載中。石川県産業観光研究会、金沢龍馬会各会員。

天六キャンパスを売却し、梅田に新拠点を開設 地域・社会人・大学がともに発展できる新たなハブ機能として

このほど関西大学は、大阪市北区長柄西1丁目にある天六キャンパス（9273・89㎡）を阪急不動産（株）に売却し、現在阪急電鉄（株）が保有する大阪市北区鶴野町の土地（806・57㎡、現況は駐車場）と、この土地に建設される建物（平成28年8月竣工予定）を阪急不動産から購入することになり、7月16日に阪急不動産との売買契約を締結した。

昭和4（1929）年に開設した天六キャンパス（旧称天六



学舎）では、夜間の法律学校として設立された関西大学の伝統を受け継ぎ、長らく夜間教育が行われ、数多くの優れた人材を輩出してきた。昭和10（1935）年には大学本部が竣工、40年（1965）に千里山に関西大学会館が竣工するまで法人本部の所在地ともなっていた。

しかし、時代の趨勢から、平成6（1994）年4月には第2部（夜間部）の全学部を千里山キャンパスへ全面移転、それ以降は、エクステンション・リードセンターが社会人向け講座の開設や、一部の大学院研究科

がテレビ会議システムによる遠隔授業を実施していたが、十分な有効活用ができていなかった。

そのため大学では、長期行動計画の具体的施策として「サテライトキャンパスの新設や天六キャンパス等を含めた遊休地の活用策の検討」を掲げ、常任理事会及び理事会で鋭意検討を続けてきたところ、今回ようやく具現化したもの。

今回の売買に踏み切った理由は、主として次のとおり。

- (1) 第2部が千里山キャンパスに全面移転した平成6年度以降、天六キャンパスの跡地利用について20年間にわたり試行錯誤を続けてきたが、十分に有効活用できなかったこと。
- (2) 天六キャンパスに多額の資金を投下しても、教育研究上の新たな展開は極めて困難であること。
- (3) 近隣の土地需要の動向から判断して、天六キャンパスを手放すには適当な時期と考えられること。
- (4) 購入する土地は阪急「梅田駅」から東へ徒歩4分、JR「大阪駅」から徒歩8分程度と、交通至便の立地にあること。

と。

(5) 梅田周辺でまとまった土地を取得するのは非常に難しいとされているため、またとない好機であり、本学にとって大阪の中心地に自前の拠点を所有できるので、新たな展開が可能となること。

(6) 特に天六キャンパスがかつて担っていた「社会人を主たる対象とする教育機能」を継承する場合、良好なロケーションにあること。

(7) 千里山キャンパスから教育研究機能の一部を移転すること、千里山キャンパスの狭隘化の緩和につながり、再編を構想できること。

梅田で学びの高度化・多様化を追求

また、北区鶴野町の新たな土地・建物における教育・研究上の利用方針は、学是「学の実化」を基調とし、『西日本の中心的な都市空間である梅田において、学びの高度化・多様化を追求し、地域・社会人・大学がともに発展できる新たなハブ機能』をテーマに掲げて構築される。

梅田駅前という地の利は、関西大学が有する知的資源の社会還元を一層推進し得る機会となると同時に、天六キャンパスが長らく果たしてきた社会人教育の伝統を今日的に継承するもの

でもあり、具体的な事業構想として次の4点を想定しながら、今後、検討を加えていくことになっている。

- (1) 関西大学の長期行動計画や国の施策に掲げられた社会人対象の学習機能
 - ・企業人材のグローバル化・高度化支援に対応した「社会人学び直しプログラム」の提供
- ・既存大学院の社会人向け科目の開講
- (2) 都心部での展開に高い教育的効果が期待できる教育研究機能を一部移転し、千里山キャンパスの狭隘化を緩和
- ・臨床心理系の大学院機能の移転（※1）
- (3) 先行して梅田進出を準備中の諸機能や、リーガルクリニックなどを展開している現行の中之島センターの包含的集約（※2）
- ・心理臨床センター（仮称）
- （※1）
- ・キャリアセンター梅田オフィス（仮称）
- (4) 在学生、教職員、校友、企業や地域社会との交流・情報発信拠点・交流サロンの開設

（※1）臨床心理系の大学院と心理臨床センター（仮称）とが有機的・一体的に連関することにより、教育効果を高める。

（＊２）上記（３）については、当建物が完成（平成28年8月竣工予定）

するまでの間は、梅田にある賃貸ビルを借用することに対応

関係者ら350人集い

クロージング・セレモニーを挙行

天六学舎が9月一杯で閉鎖され、10月から解体工事が始まるのに伴い、9月3日午後6時からクロージング・イベント「ありがとう天六学舎」が同学舎で開催され、大学関係者、地元関係者、天六学舎での勤務があった元事務職員、2部卒業生の組

織（天六同友会、スポーツマンクラブ、応援団OB長柄会）関係者など約350人が集い、それぞれが勉学に、勤務に励んだ日々思いを馳せ、学び舎との別れを惜しんだ。

式典は、講堂（309教室）で開催され、黙祷、回顧ビデオ上映の後、池内啓三理事長と楠見晴重学長が挨拶。池内理事長は、「天六学舎は昭和4年に竣工し、専門部、関西甲種商業学

校及び関西大学第二商業学校が福島学舎から移転した。関西大学が夜間の法律学校として創立されたこともあり、その後、夜間部専用となった天六学舎は長く、本学創立当初の伝統を受け継ぐ、シンボリックな学び舎であった。

私にも2つの思い出がある。最初の思い出は、学生時代のバスケットボール部の練習で、千里山にバスケットができる体育館が完成するまでの1・2年次は、ほとんど毎日、天六体育館で練習をした。2つ目の思い出は、昭和58年から平成3年まで第二学生課長として勤務した8年間で、「3講時制から2講時制への切り替え」や、「人権教育への取り組み」などが思い出される。

私学の約半数が定員割れという厳しい環境の中、関西大学も競合他校に一步抜き出た、思い切った施策を展開していかなければならぬ。天六キャンパスの開鎖は、天六で築かれた歴史や伝統の終焉ではなく、それらをより飛躍させ、関西大学が未来永劫、社会から求められる大学として発展し続けるための新しいスタートである」と挨拶。

また、楠見学長は、「天六学舎は、夜間専門の学舎として、日本でも有数の歴史を有し、多くの優位な人材が育っていった。

本学は、1886年関西初の法律学校として創立された、主として夜間部の専門学校であった。関西大学のルーツはそこにあり、そのルーツを長く受け継いできたのがこの天六学舎である。また、



関西大学は大阪で生まれ、大阪に育てられた大学である。そういう伝統というのは大きな誇りであり、我われにとっても拠り所でもある。

天六学舎の開鎖は、更なる発展をめざした閉鎖であり、梅田の新たな拠点には、社会人を主体とした学びの場を設ける。今後とも関西大学を一段二段とステッアップしていくのでご支援をお願いしたい」と述べた。

続いて、2部出身者の3団体代表が挨拶。天六同友会・水上義博会長、スポーツマンクラブ・陸田弘行副会長、応援団OB長柄会・大谷啓二会長の3人は、それぞれ学生時代の日々を熱く語り、天六で学んだ誇りをもって今後とも母校の発展に協力していく決意を表明。また、3団体の総意として、①天六学舎跡地に記念碑の建立、②梅田の新拠点には校友も集える会議室・サロンの設置、③天六学舎に関する資料室の設置、の3点

をできればお願いしたいと大学に要望した。

馬淵純一応援団OB長柄会副会長の指揮で学歌を斉唱し、式典を終了した。

式典後は、有鄰館前広場で模擬店を配置した食事が行われた。永田眞三郎常務理事の音頭で乾杯し、参加者は懐かしいキャンパスの施設を見学したり、歓談しながら旧交を温め、最後は、石原美之応援団OB長柄会副会長のリードで全員肩を組んで追遙歌を合唱、名残惜しみつつ学舎を後にした。

なお、9月15日の祝日には、建物内で飲食しながら同窓会もできる天六キャンパス・オープンデーが開催された。



大学教育再生加速プログラムに選定 「21世紀を生き抜く考動人の育成」

文部科学省の平成26年度「大学教育再生加速プログラム」に、関西大学が申請した「21世紀を生き抜く考動人の育成」事業が選定された。

「大学教育再生加速プログラム」は、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先

進的な取組を実施する大学を支援することを目的としているもので、今回は申請事業250件のうち46件が選定された。

正式事業名は「21世紀を生き抜く考動人の育成（Life-long active learner）」で、事業期間は平成26年度から30年度の5年間。

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業にも2件

大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色をいかした研究を実施するため、国がその研究基盤の形成を支援する文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、本学から申請した2件が採択された。

支援区分は「研究拠点を形成する研究」で、研究期間は平成26年度から30年度の5年間。

掲載は、研究組織名、研究代表者（申請時）、研究プロジェクト名の順。

①データサイエンス研究センター、ソシオネットワーク戦略研究機構・矢田勝俊商学部教授「ビジネスにおけるデータサイエンスの深化を目指す総合的研究

拠点の形成

②経済実験センター、ソシオネットワーク戦略研究機構・小川一仁社会学部准教授、「高齢者の意思決定支援制度を構築する開放型経済実験拠点の形成」

なお、この事業における関西大学の選定数合計は21件で、全国の私立大学ではトップ。

交換受入留学生54人の 春学期修了式と歓送会

千里山キャンパスで7月17日、交換受入留学生の平成26年度春学期修了式が挙行された。15カ国・地域の25校の協定大学からの交換受入留学生54人に、吉田栄司国際部長が激励の言葉を添えて修了証書を授与。修了生代表は挨拶で「辛い時



もあったが、充実した留学でした」と関大での思い出を振り返りながら、多くの支援に対して感謝の言葉を述べた。

式典後の歓送会には、修了生のほか留学を継続する交換留学生や日本人学生、教職員約120人が参加し、修了を祝した。

防災教育・啓発に関し 日赤大阪府支部と協定

関西大学と日本赤十字社大阪府支部は、「防災教育・啓発パートナー協定」を締結することとで合意に達し、7月24日に調印式を行った。

この協定は、相互に連携して防災分野における教育研究活動の一層の充実を図るとともに、教育研究協力を推進し、その成果の普及促進による防災対策および防災啓発に寄与することを目的としており、防災分野での



大学と日本赤十字社との協定締結は、全国初の取組み。

今回の協定締結により、日赤大阪の豊富な救護現場での経験と、関大で培われた防災分野の知見が融合され、防災教育・防災啓発に活かすことで、地域防災力の向上につながることを期待されている。

農業特区の養父市と 地域づくりで連携協定

関西大学は、「国家戦略特区（農業特区）」に指定された兵庫県養父市と、包括的な連携協定を締結することで合意に達し、8月4日に養父市役所で調印式を行った。

この連携協定は、会計専門職大学院の宗岡徹教授や環境都市工学部の山本秀樹教授による同市での研究・活動実績をもとに締結したもので、産業振興、人

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**
海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/car>

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険事業部・オフィス事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社 豊中市新千里北町2-20-8 TEL0120-50-5421 / 関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内

協力に関する協定



材育成、教育・文化の振興、地域づくり、福祉の増進等の分野で相互に協力し、活力ある地域づくりと大学の活性化に寄与することを目的としている。

今後は、地域産業の振興を第一として、養父市内の企業との連携ビジネスの検討や、高品質、高付加価値農産物生産のための高機能性天然肥料の開発、兵庫県立但馬農業高等学校での連携事業による人材育成等を実施する予定。

OSAKA天の川伝説 イベントに協力し参加

関西大学は、大阪市の大川で7月7日に開催された「平成OSAKA天の川伝説」のイベントに協賛団体として協力・参加した。

大阪地区の活性化や水環境の良化等を主な目的に、七夕の夜に願いごとを込めたLED電球



「いのり星」5万個を浮かべて天の川を実現するプロジェクトで、大阪の新たな風物詩となっている。

大学からは、池内啓三理事長と楠見晴重学長が神事に参加。また出展ブースでは、大阪天満宮と天神橋筋商店街の協力、楠見学長の学術的サポートによって復活させた名水「天満天神の水」を展示し、ボランティアセンター学生スタッフと社会学部との与謝野有紀教授のゼミ生らが中心に、「いのり星」放流の手伝いをした。

竹中平蔵客員教授講演会 記念セミナーとして開催

慶応義塾大学教授、元総務大臣の竹中平蔵客員教授を招いて10月29日に開催される、第65回会計専門職大学院セミナーが、今回は創立130周年記念セミナーとして開催されるこ



とになった。
聴講は自由、事前申込も不要となっており、
会計専門職大学院では、学部生、大学院生、教職員及び校友ほか学外一般の方々、多数の来聴を期待している。

全日本学生空手道選手権大会

清水希容が女子個人形で3連覇

第59回全日本学生選手権大会並びに東西対抗戦が、7月7日に大阪市中央体育館で開催され、空手道部の清水希容（文3）が女子個人形の部で優勝し、本大会3連覇を達成した。

清水は、決勝トーナメントも圧巻の演舞で相手を寄せ付けず勝ち上がり、決勝の相手は同大の大野。一番得意なチャタンヤラクーサンクーで迎え撃つ。精神を沈め、鋭い目つきで前を見据え、序盤から素早い手さばき



■日時 10月29日（水）16:20
～17:50（第5時限）～15:50
開場予定
■場所 千里山キャンパス第2学舎BIGホール100
■講師 竹中平蔵氏（関西大学客員教授）
■演題 日本経済…2020年という大チャンス！

全日本学生空手道選手権大会

で演舞が進む。拳を地面に合わせ、大きな声とともに手を前に突き出し、プレッシャーを力に変えて自分の形を貫き、演舞を終えた。

結果、上がった旗は5本とも清水を指す色。相手を圧倒して全日3連覇を成し遂げた。

射撃部・高木が種目優勝 女子は団体総合で準優勝

7月5～6日に大阪府の能勢射撃場で開催された第10回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会の男子50m3姿勢40発競技で、高木章雄（人4）が種目別個人優勝を果たし、全国大会でのファイナルは初めての畑昂希（経3）も3位に入賞、同種目で団体優勝を飾った。

また、同大会で女子は、団体



総合で準優勝を果たした。

学生ジムカーナ選手権 全日4位6年ぶり入賞

全日本学生ジムカーナ選手権大会が、8月24～25日に鈴鹿サーキットで開催され、自動車部は4位に入賞、6年ぶりの入賞を果たした。

各大学3人が2回ずつ走行し、ベストタイムの合計で優勝を争うこの大会。今年は予選が豪雨で中止になり、決勝のみが



行われ、関大は青木智哉（シス4）、西口正真（経3）、根本一成（シス3）の3人が、それぞれ2本目で記録を更新、目標の6位入賞を上回る4位に入賞した。

ソフトテニス部女子 西日本学生で3連覇

7月5～8日に福岡県の東平尾公園博多の森テニスコートで行われた平成26年度西日本学生ソフトテニス選手権大会で、ソフトテニス部女子が3連覇を達成した。

昨年は、関西学生春季リーグで1部最下位となったものの、再スタートをかけたこの大会では2連覇を達成し、復活の手がかりをつかんだ。今年、関西春季リーグで悲願の全勝優勝を遂げてのぞんだこの大会。初戦の



島根大戦では苦戦したものの、2回戦以降は実力を発揮してストレート勝ちを続け、決勝でも福岡大をストレートで下し、3連覇を達成した。

なお、ソフトテニス部女子は8月に行われた全日本学生選手権大会でもベスト8の成績を残している。

水泳部女子が大会新 4×100mリレー

第88回関西学生選手権大会及び第50回関西女子学生選手権大会が、7月25～27日になみはやドームで開催され、1日目最後の種目4×100mリレーで、2部の男子は樽井学（法3）、タロック・ライアン（シス4）、敦賀直哉（人2）、塩野晴紀（経3）が出場。アンカーの塩野が50mのターンで1位に躍



り出ると逆に差を広げ、2位と1・48秒差、3分29秒81で鮮やかな逆転優勝を果たした。

女子は、吾郷みさき（人4）、高木理加（人1）、金井萌香（人3）、上田奈美希（人3）が出場。アンカーの上田は、前半から着々と前との差を縮め、折り返しで1位に並ぶと、得意な後半で大きく差をつけて3分48秒81でゴールし、逆転優勝するともに大会新記録を樹立した。

その後も、好成績をあげた関大は、総合成績では男子が205・5点で2位に約1000点差をつけて2部優勝。女子も132点で1部3位となった。この結果、男子は1部昇格、女子は団体でのインカレ出場権を手にした。個人でもインカレ出場の切符をつかんだ選手が多数いた。（スポーツ関係の写真は、「関大スポーツ編集局」提供）

人間健康学部生らが担ぐ 「住吉大社神輿」に歓声

大阪最後の夏祭りを締めくくるとる住吉祭は、7月30日に「宵宮祭」、翌日「例大祭」、そして8月1日には住吉大社の御神霊（おみたま）をお遷（うつ）りした神輿が、行列を仕立て、堺の宿院頓宮までお渡りする「神輿渡御（みこしとぎよ）」が行われ



た。

大阪市と堺市の境を流れる大和川の川渡りでは、大阪側の担ぎ手が担いできた神輿を、川の中州で堺側の担ぎ手が受け取るという勇壮な儀式が執り行われ、川岸に集まった大勢の見物客から大きな歓声が上がった。

堺側の担ぎ手には、関西大学人間健康学部の体育会に所属している学生およそ100人がボランティアとして参加しており、大和川から宿院頓宮まで神輿を担いで祭りを大いに盛り上げた。

（堺支部 鍋島均志）

校友短信

◇泉南市長に竹中勇人氏が初当選 5月18日に投票開票された泉南市長選挙で、前副市長の竹中勇人氏（たけなか・いさと）昭61学工）が初当選を果たした。60歳

◇高槻市議会議長に角芳春氏就任 5月21日に行われた高槻市議会の役員選挙で、議長に角芳春氏（かど・よしはる）昭40学2法）が選ばれた。角氏は自民党所属で当選6回。74歳

◇TONE社長に松村昌造氏が就任 8月28日付。松村昌造氏（まつむら・しょうぞう）昭48高1・52学工）は、

26年春の叙勲（追加）

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順。敬称略。

褒章

◆黄綬褒章

前村幸夫（まえむら・ゆきお）昭50学商 62歳 建築・不動産のマエムラ代表取締役社長、宮崎県宅地建物取引業協会会長。宮崎市。

卒業研究で学ぶ社会の厳しさや温かさ スーパーマーケットでの現場実験を通して

社会学部教授 池内 裕美

なぜ、商品に「期間限定」や「人気商品」などのPOP広告がつくと、その商品が魅力的に見えるのだろうか。「残りわずか」と聞くと余計に欲しくなるのはどうしてだろうか。本ゼミでは

こうした購買行動にまつわる心理について、文献から得た理論や法則を実証的に検討することを目指している。そのため毎年多くのゼミ生たちが、卒業研究

の一環で仮想店舗を作ったり、学内の店舗を借りたりして、調査や実験を行うことになる。

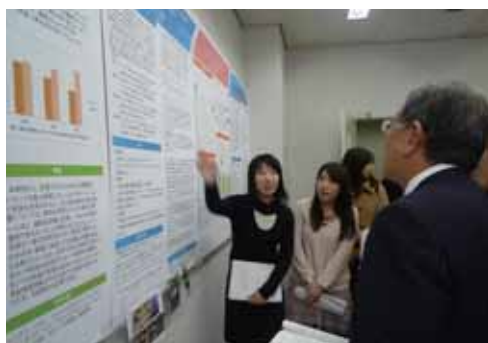
昨年度は、それがさらに本格化した。学内を超えて学外での実験、すなわち実際の店舗にて研究する機会に恵まれたのである。ご協力頂いたのは、大阪東部を中心に多くの店舗を構えるスーパーマーケット「株式会社コノミヤ」の代表取締役社長である芋縄隆史氏(昭62学造)。さらに社会連携部や校友会のサポートもあって、摂津市駅前店をお借りして2つの卒業研究を実施した。具体的には、「ジャンブル陳列(ワゴン陳列)」の有効性の検討と「パンの香りが購買行動に与える影響」である。専門家の研究ならともかく、学生の卒業研究で現場実験を行うことは稀であり、機会を頂けるだけでも貴重なことである。ここでは実際の取り組み内容について、前者の研究例をもとに紹介する。



▲コノミヤの役員さんの前でプレゼンテーション

彼らの研究目的は、「ジャンブル陳列と通常陳列(棚での陳列)では売り上げにどれ位の違いが出るのか」、「ジャンブル陳

列の効果的な設置場所はどこかなどを検討することであった。まず、現場実験を行うからには、その研究成果が実務に貢献するものでなくてはならない。そのため、研究が店舗を提供するに値する内容か否かを企業側に判断して頂く必要がある。つまり、本取り組みの第一歩は、社長をはじめ専務取締役の方々を前に、学生が自ら研究計画をプレゼンテーションするところから始まる。ゼミ内での練習を幾度も重ねてきた彼らでも、企業相手のプレゼンは、就職での採用面接さながらに緊張するようである。



▲関係者を招いて行った卒論発表会

売場の方々の協力により、陳列の事前準備や売れた商品の定期的な補充が可能となった。学生たちは、「コノミヤさんの温かい支援体制に、感謝しても足りない」と口々に述べ、その気

うである。

さて、プレゼン本番。机をはさんでズバリ並んだ企業関係者を前に、研究計画を懸命に説明する。「対象商品は本当にそれでよいのか」、「売れた商品はどのように補充するのか」など、現場ならではの鋭い指摘や質問がある。正確な結果を得るには、対象商品を常に一定数に保つ必要がある。答えに詰まり、学生たちは自らの計画の詰め甘さを思い知る。その他、数々の問題が立ちはだかるも、その都度コノミヤさんから多くの助言や提案を頂き、それを基に案を練り直す。そして現場となる店舗でのミーティングと予備調査を経て、ようやく実験当日を迎えることになる。



▲ジャンブル陳列の例

持ちがまた実験者としての自覚や責任感につながる。この一連の取り組みは、研究成果のフィードバックにて締めくくられる。昨年度は、学部の専攻内で開かれた卒論発表会に関係者を招いて成果を披露した。

ちなみに本研究では、ジャンブル陳列は平均して通常陳列の5倍前後の売上が見込めること、レジ前の設置が最も効果的であることなどが見出された。しかし、成果はそれだけに留まらない。学生たちは、ブル社会人としてのマナーや心構え、やりきったという達成感や自信などを得たといえる。つい先日、現4回生が新たな研究テーマを掲げてプレゼンを実施した。不安な面持ちで臨んだ4人であったが、案が認められ、今年も店舗が借りられることになった。これから始まる現場実験を通して、半年間でどのように成長していくのか、今から楽しみである。

「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I 構想」を策定

近年、社会や経済のグローバル化が急速に進行し、高等教育を取り巻く環境が激しさを増すなかで、関西大学が社会から求められる大学であり続けるためには、教育、研究、社会貢献などあらゆる分野において、常に改革に取り組まなければなりません。広く日本の社会に対して、優秀な人材を育成・輩出する本学の大きな使命を果たすには、ポテンシャルの高い学生を獲得するとともに、国内だけでなく、本学が重視するアジア諸国はもとより、全世界に開かれた大学であることが求められます。そこで、伝統的なキャンパスのイメージを打ち破り、オープンでボーダーレスな学生の受入れ体制を整え、人、言語、環境を組み込んだイマージョン空間を創出し、国際通用性の高い教育プログラムを提供することで、本学に課せられた大きな使命を果たすための「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I（トリプル・アイ）構想」を策定しました。

本構想では、英語教育体制の大幅な改革を断行し、一人ひとりの学生がグローバル社会に対応するための基礎体力を養う仕組みを完成させます。学内外で英語を用いた多様な研修・留学を、日本人学生と受入留学生在共に体験することで、コミュニケーション力だけでなく、共感力、創造性、積極性とともに異文化適応能力を養う異文化イマージョン教育（Intercultural Immersion Initiatives：トリプル・アイ構想）を展開します。

このトリプル・アイ構想では、「多様な価値観」「豊かなコミュニケーション力」「主体的問題解決能力」「リーダーシップ&チームワーク」を培い、本学の持ち味である地域コミュニティとの連携を通して、地域の慣習・文化、さらには日本の慣習・文化を理解するプロセスを重ねることで、日本人学生は日本人としてのアイデンティティを自覚し、受入留学生は日本社会と日本人のよき理解者となり、それぞれがグローバルな問題を日本の立場を踏まえて理解し発信できる人材となるよう育成することを最大のねらいとしています。

少子高齢化が加速する日本社会にあっては、多様な背景や価値観をもった外国人と日本人とが、いわば市民レベルで共生（チームプレー）できることが大切であり、さまざまな場面で、手に手を携えて問題に立ち向かうグローバルなチームプレーヤーの育成も不可欠といえます。

このような取り組みを実現するため、本学は、教務、人事、ガバナンスなどあらゆる視点から改革を行い、次の「21世紀型「学の実化」を志向するイマージョンキャンパス」を目指します。

《21世紀型「学の実化」を志向するイマージョンキャンパス》

- ◎イマージョン環境のもとで、多様で独創的な教育を展開する大学
- ◎国際人基礎力をもった次世代グローバルジェネラリストを育成する大学
- ◎総合大学として広範な学際性と高度な専門性を活かし、大胆かつ柔軟に未来を切り拓く大学
- ◎日本語・日本文化教育のグローバル拠点となる大学
- ◎活発なモビリティに支えられ、地域や世代を越えて愛され、信頼され、学びたいと切望される大学

この構想を実現するため、学長、常務理事、副学長及び併設学校の校長等を構成員とする「関西大学国際化戦略実行委員会」を本年8月に設置し、本構想の実現に向けた諸準備を開始しています。平成28年度には、学長直轄組織として「グローバル推進機構」を新設し、国際化の活動を推進します。

詳しくは本学ホームページ（http://www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/2014/07/2014-2023triple_i.html）をご覧ください。



この伝統を、超える未来を。

校友総会に「創立130周年記念ブース」を開設!

～130周年記念グッズ販売も決定～

創立130周年記念事業・募金事務局が4月に発足され、早くも半年が過ぎようとしています。6月からは募金活動も開始し、企業へも順次、訪問依頼をさせていただいています。今年は、アベノミクスの影響で景気がやや上向きとかで、高収益をあげておられる企業も多くあると聞きます。しかしながら、一般庶民への還元の実感はほとんどなく、それが募金にも如実に反映されています。8月上旬現在で、募金申込み額は約1億6千万円であり、苦戦が続いているといえます。これは、120周年と比べて、非常に出足が悪く、今から募金目標額の達成ができるのかを心配しなければならない状態です。事前に「創立130周年記念事業」を校友の皆様十分に伝えてきていないこともあり、事務局としてお詫びする次第です。今後は、広報活動を中心に一層の努力を行ってまいりますので、校友の皆様のお力をお借りし、多大なるご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。なお、校友会機関紙「関大」11月号では、第一弾として、創立130周年記念事業募金にご賛同いただいた寄付申込者のご芳名を掲載する予定です。

さて、来る10月19日（日）の校友総会では、「創立130周年記念ブース」を設ける予定です。記念事業のPRや募金窓口のほか、右の写真のような4種類の「創立130周年記念グッズ」の販売も行います。是非とも、今の関大にお越しいただき、校友の皆様で「創立130周年」を盛り上げていただきたいと思います。

本事務局は、まだまだ至らない所もありますが、4月からホームページを開設し、関連イベントの紹介も行っていますので、お時間の許す限り、ご覧いただければ幸いです。

(創立130周年記念事業・募金事務局)



▲ゴルフボール（半ダース）



▲タオルハンカチ



▲切手シート



▲ネクタイ



【創立130周年記念事業 特設サイト】※関大ホームページからアクセス

【創立130周年記念グッズ（株）関大パンセ提供】
※若干の変更を行う場合もあります。

インド千里会

インド・バンガロールで初の千里会開催
学縁の有り難さを実感のひととき過す

7月10日、南インドのバンガロールにて、第1回関西大学インド千里会を開催しました。

私は、これまで福岡千里会でお世話になっており、4月下旬に開いていただいた壮行会で、「インドでも千里会立ち上げや」との声援に早々応えることができました。

きっかけは、2ヶ月に1回のバンガロール日本商工会、いわゆる異業種交流会のようなもので、そこへ初参加し、たまたま最初に話しかけた女性が関大



卒！そこから「千里会をしよう」という話になりました。その後、日本人会のソフトボールでまた一人、関大卒の男性と出逢い、彼も関大卒のOBを知っているということで、4人集まり、関西の某企業の方にメールをした際に「私は関大卒で」とたまたま記したところ、「うちの会社にもおりますよ」ということで5人集まった次第です。

まさかのインドで、渡印2ヶ月にして千里会が開催できるとは夢にも思いませんでした。しかも、面識はあったものの、関大卒とは知らなかったという方もおられました。福岡でもそうでしたが、やはり「関大卒」の団結力と言いますか、同士感は素晴らしいです。世代も、新卒に近い若者と30代後半ということで、学生時代のことや、関大の今昔について話に華を咲かせました。

卒業して10年以上も経つと、知らない関大の面が多く、卒業以来、関大を訪れていない方は

「まるで別の大学の話を聞いているかのよう」との感想もありました。

在学年次が被っているけれども、当時はもちろん知らない者同士。それが時を経てインドで出逢う不思議さ、学縁の有りたさを実感したひと時でした。

更に、私たち関大OBは、バンガロールでインド千里会を立ち上げただけに留まらず、関西に縁のある人を集めた728（なにわ）会も発足させました。毎月定例会を開く予定です。

世界の何処にいても、賑やかさと笑いが大好きな関大OB。インドという場所で関大の思い出に浸りつつ、更におもしろい事を作り上げて行きます。乞うご期待。（中村美里 平13学社）

JKT千里会
福田さんの送別会
兼ねて定例会開催

JKT千里会では、7月4日に中央ジャカルタの日本食レストラン「パサラ」で、駐在2年目になる福田麻里さんの送別会を兼ねた定例会を開催した。

新会員2人を含む9人が参加。会では、参加者の仕事それぞれ異なるため、各業界の話や昨年世界各地で襲名披露公演を行った校友の六代桂文枝師匠の話、紅一点で活躍してこられた福田さんとの思い出話などで、



笑いにあふれた4時間を過ごした。

次回は、8月10日にバンテン州タンゲランのクダトン・ゴルフ・アンド・カントリークラブでゴルフコンペを開催予定です。

JKT千里会は、「楽しく交流！」をモットーに運営しています。関大卒業生の方はお気軽にご連絡ください。（黒田和孝）
(黒田和孝 yapping.office.id@gmail.com)

香港千里会

久しぶりに7人が集う
関大同窓の精神を共有

6月11日に7人のOB・OGが、チムサーチョイの居酒屋・富士の幸に集結しました。

久しぶりの香港千里会は、それぞれのビジネスの近況、プライベートな香港生活などざっくばらんな話で盛り上がりしました。

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5

Tel 06(6941)3306 URL: <http://www.obsf.co.jp>





ロサンゼルス千里会

南加大同窓会対抗ゴルフ大会に ユニホーム新調し精鋭6人が参加

毎年恒例の第30回南加大同窓会対抗ゴルフ大会が、6月8日に23大学155人の出場者を得てFontana市のSierra Lakes Golf Clubで開催され、関大からは精鋭6人が参加しました。

上位入賞を目指して今回はユニホームを新調、また、初参加の岡田裕弥氏が大活躍、その甲斐あって9位入賞。同志社には勝てたものの、ライバル関学（2位）には程遠い結果に…。

しかし、試合前および試合中でのドラコンは関大が独占！

今回は、9月の関関同立戦。メンバーの技術向上に期待するとともに、これを機に、今後ますます校友会を充実させて、



関大校友を発掘しましょう！

（白川敦）shirakawata@gmail.com

昨年製作された立派な会旗を間近で見るのが初めての方もおられ、世代は異なれど同じ大学で学んだ（進んだ？）精神を共有できました。

最後には、関大を歌を小声で歌って解散となりました。

なお、今回は9月2週目に開催予定です。

（山下謙一 管理工92卒）hksenrikai@gmail.com

上海関大会

上海訪問の学生と交流会 関大の絆感じながら歓談

上海関大会では、8月22日午後7時から、関西大学グローバル企業体感プログラムの国際インターンシップとして上海を訪れた学生ら15人との交流会を京汇坊大酒店で開催、上海関大会からも14人が参加した。

交流会では、お互いに「関大」という力強い絆を感じながら、和やかに歓談。学生たちにとっては、現地で活躍している諸先輩の貴重な体験談を聞き、「海外で働くこと」を体感するなど大いに勉強の機会となり、現地メンバーは学生たちの若いパワーをいただくなど、大変有意義に且つ楽しいひとときを過ごした。

（山本震一）yamamoto@slystrading.com



ロングライフで、感動体験をしてみませんか。

各ホームでは、完全予約制でご見学を承っております。
見学希望の方は、下記フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。

人生第二章を謳歌するステージ！まずは一度ご見学にお越しください。

京都



住宅型有料老人ホーム ロングライフ 京都嵐山

【住所】京都市右京区太秦中山町19-6
【アクセス】JR[宇多野病院前]バス下車 徒歩1分(80m)

神戸



介護付有料老人ホーム ロングライフ 神戸青谷

【住所】神戸市中央区神崎通3-1-2
【アクセス】JR[三ノ宮]駅-阪急電車[神戸三宮]駅より、神戸市バス[青谷]下車徒歩8分(640m)

大阪



介護付有料老人ホーム ロングライフ 上野芝

【住所】堺市中区深井中町897-1
【アクセス】JR阪和線[津久野]駅より、南海バス[深井西口]下車徒歩3分(240m)

日本ロングライフは全国20箇所の有料老人ホーム、803室の居室を展開しています。

ともに喜び、ともに感動。
日本ロングライフ
LONG LIFE GROUP
Life is good

お問い合わせ、
資料請求はお気軽に

0120-550-294

受付 / 9:00~18:00
お客様相談室 365日受付

大阪本社
〒530-0015 大阪府北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階

東京本社
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-16 九段KABビル6階

北から 南から 《各地支部だより》

平成卒会員が20人出席、初参加も9人 小手川会員が「ロボット村」につき講演

北九州支部（坂口勝利支部長・42法）は、7月26日にリーガロイヤルホテル小倉で支部総会「校友のつどい」を開催した。田中義昭校友会副会長、花田正利九州支部連合会長をはじめ、福岡、佐賀、熊本、山口から9人の来賓を迎え、49人の支部校友が出席した。

を大いにPRしたことや、「50周年記念支部便り」の作成などに積極的に取り組んだことが報告された。

活動報告では、前年に設立50周年を迎えた当支部が、八幡駅前イルミネーション点灯イベント「に社会連携活動として「ちゃんこ鍋店」を出店し関大



総会の恒例となった講話では、小手川寿朗氏（平3商）が「「ロボット村」に「いらつしやい！」という題目で、自身の勤務先である安川電機（株）について講演された。現在、会社設立100周年事業として北九州市の副都心・黒崎駅北側に「ロボット村」を整備中で、日本を代表するロボット技術を一般の人が体感できる施設を設ける予定とのこと。4年後の完成がとても待ち遠しい。

総会のPR活動をした努力が実り、今年は平成卒業生が20人も出席し、うち初参加者は9人。特に20代30代では女性2人を含む8人が初参加。懇親会では諸先輩方との交流を深めながら、初参加の校友を歓迎した。その中で「このような総会があ

るとは知らなかった。来年は勤務先の関大出身者を誘って参加します！」との感想を聞き、とても嬉しく頼もしく思えた。

お楽しみ抽選会では、寺岡真弘選手所属のサッカーJ2・ギラバント北九州グッズや関大グッズなど、多くの賞品が並び、例年以上のヤンヤ、ヤンヤの賑わいぶり。

最後の締めはやはり追遙歌。皆で肩を組み、学生時代に戻ったような大合唱。関大の絆を感じた一瞬だった。

様々な分野で活躍される諸先輩方や後輩の存在はとても心強い。北九州での校友の活躍がさらに相乗的に活性化していくよう、今後も時間の許す限り協力して支部活動を進めていきたい。

（有富じり・平14工
（西原正人）093-771-5209）

台風の中総勢66人が参集 30歳以下の出席目立つ

徳島支部（山田仁支部長）は、8月2日に26年度総会を徳島市内の阿波観光ホテルで開催した。総会には会員59人に加え、本部の渡邊泰之副会長をはじめ、四国エリア、淡路島の各支部幹部にもご出席いただき、総勢66人が集まった。

第1部では、徳島製粉（株）の田中忠徳専務（50学工機）か



は谷口副支部長が議長を務め、滞りない進行で議案を承認した。

最後はお待ちかね、記念撮影から懇親会へ。世界的に活躍するジャズピアニスト瀬部妙子さんにピアノ演奏をお願いし、贅沢なBGMが流れる中、校友同士が親睦を図った。山田支部長の尽力もあり、例年になく大勢の校友が参集、その中には30歳以下の若い校友も多く、大先輩の皆さんもつられて饒舌となり、活気あふれる楽しい懇親会となった。

なお、当日は大型台風12号の影響で公共交通機関がマヒ状態だったが、その中でこれだけ多くの校友が出席してくれたこと、またやむを得ず欠席となった方からも温かい伝言を頂戴したことに對して、心からのお礼を申し上げます。

（幹事長 松下浩太郎
（山田仁）088-625-534）

15年間支部を牽引、 香川を元気に 川崎新体制スタート

香川支部（川北文雄支部長）の26年度総会が7月19日、高松市のJRHホテルクレメント高松であり、約70人が「確かめよう青春・深めよう友情・高めよう

母校愛」を合言葉に旧交を温めた。役員改選もあり、平成11年から15年間にわたって香川支部を牽引してきた川北支部長（40法・元香川県副知事）が退任



し、川崎有二幹事長（47法・金星タクシー社長）を第10代支部長に選出した。

総会は、寺内俊太郎校友会長、高松市出身の上原洋允関西大学相談役をはじめ、四国・岡山の各支部代表をゲストに迎え、岡田守弘さん（46工）の指揮による学歌斉唱でスタートした。

退任挨拶で川北支部長は「これまで①香川に惚れる②連れ合いに惚れる③仕事に惚れる④関大に惚れるの4惚れを大切にしていた。郷土香川の元気づくりが母校の発展につながると信じ、支部の皆さんには、無理をするなど無理を言い続けた15年間だった」と振り返った。席上、同時に退任する田中俊二副支部長（42法）と鏡原良則副幹事長

（47社）の3人に手作りの感謝状が手渡された。

総会ではほかに、25年度の事業報告もあり、高松市歴史資料館で開かれた「知の巨人・藤澤東峯展」への協力や「香川県と関西大学との就職支援に関する協定書」に基づく学生の就職活動支援などの取り組みが報告された。本年度の事業計画では、四国3県や岡山支部との交流を深めることや「四国八十八箇所霊場と遍路道」「讃岐ジオパーク（地質公園）」の世界遺産登録を目指す運動を引き続き支援すること、母校創立130周年記念事業をバックアップすることを全会一致で決めた。

記念講演会は「今後の四国・香川の観光」と題し、JR四国相談役で日本観光振興協会四国支部長の梅原利之さんが登壇。前香川県観光協会会長や前NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク理事長として、香川の観光活性化や四国霊場の世界遺産登録運動の最前線に立ってきた梅原さんは「今年で国立公園指定80周年を迎える瀬戸内海や開創1200年になる四国霊場はどこにもない四国の魅力。四国は21世紀型の観光資源の宝庫」と指摘し、「このうどん県を皆さんも自信を持って売り込んでほしい」と訴えた。

毎年恒例の初参加校友スピー

チは、さぬきのモーツァルトと松野安伸さん（51経）が流ちようなトークで盛り上げた。

総会後の7月23日には、植田浩之さん（平6経・ウエタ写真館）が毎年、撮影協力してくる総会記念写真集（A4判、カラー8ページ）を発行し、出席者の手元に届けた。

支部へのご意見、ご要望はお近くの役員へ。支部長以外の新役員は次の通り。（敬称略）

副支部長＝鶴見勤（47経）、北浜裕子（47法、岡本均（49工）▽幹事長＝伊藤雅也（55工）▽副幹事長＝田井剛（54社、久保利司（56経、長尾利光（57工）、大西周夫（平1法、山下和彦（平2国）▽監事＝綾田哲夫（47経、岩本真治（52経）（山下和彦

（後藤設備工業・伊藤雅也＝087－881－3116、<http://www.chyuo-net.com/koyukai/>

千里の絆確認した懇親会 60周年で支部旗を新調

7月5日夕刻、鳥取支部（上山忠久支部長）第31回総会を、鳥取市内の郷土料理店やぶきんで26人が参加して開催した。支部設立60周年を記念して支部旗を新調した。大先輩から「この支部旗を継承する体制を強化し、声掛けを重視して総会の参



加者を募れ」とハッパを掛けられもした。今春の叙勲受章者や校友同志で結婚したカップルも出席されるなど、千里の絆を確認した和やかな懇親会で、関大グッズを賞品としたビンゴゲームでは、リーチの掛け合いで大いに盛り上がった。（上山忠久＝0857－24－9228）

初参加11人、平成卒15人 フレッシュな総会・懇親会

岡山支部（行本章允支部長）の26年度の総会が7月12日夜、岡山市内のホテルに校友会の植田芳光副会長をはじめ近隣支部（広島、備後、香川）の役員の方を含め75人の校友が集まって開かれた。

冒頭、来賓挨拶の中で植田副会長が「校友会は現役学生の支援に取り組んでいるが、2年後は大学創立130周年を迎え



窓を考える会社 YKK AP

YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141 www.ykkap.co.jp

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です！
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624
ホームページでも詳しく紹介しています。
ブライダルナカノ 検索

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子
経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談所サポート協会会員





る。より一層の支援を行いたいと考えているので「協力を」と呼びかけた。

今回の総会は支部役員の改選期に当たり、25年度の事業報告、収支決算報告、26年度の事業計画、収支予算案などを審議、承認されたあと、4人の新幹事が加わることが満場一致で承認された。

引き続き行われた懇親会では、広島支部の佐久間信副支部長が「今秋に母校訪問バスツアーを岡山支部と伴に行いたい」という企画の説明があった。

懇親会では住吉支部の広報担当幹事で、大阪・梅田でラウンジを経営しているあかり純さん（本名友成純子）の歌とカラオケ指導があり、例年ない盛り上がりを見せた。また初参加が11人、平成卒は15人とフレッシュな総会、懇親会にもなった。

地方教育懇に併せ総会 楽しいな母校近況報告

会のフィナーレは恒例の逍遙歌。関大グリークラブで活躍した野上明男事務局長のリードで声高らかに歌い上げた。今年度から1月に開催していた新年会開催をやめることにしたが、来年の総会まで今後は随時、ミニ懇親会を開き親睦を深めることを誓い合った。（行本章允）
ユアーズコンサルティング 086-250-5592

北海道支部（松本陽一支部長）は、26年度総会をラベンダー咲き誇る季節の7月12日に札幌京王プラザホテルで開催した。毎年、教育後援会主催の地方教育懇談会が開催される時期を当支部の総会日にしており、今年も校友会から北嶋弘一副会長、大学から楠見晴重学長、教育後援会の森本靖一郎常任顧問、他6人の錚々たる来賓のご出席をいただき、19人の支部会員が出席した。

吉田雅典氏（62社）の司会で開会。来賓の方々から母校の近況を兼ねた挨拶があった。我々支部会員は来賓の皆さんの近況報告を何よりも楽しみにしている。国内では母校から一番遠くにある支部であるため、知ってられるからだ。



関西圏で本学への女子の志願が6年続けて同志社・立命館を抑えてトップだったとか、運動部に文化部に女子生徒の活躍が素晴らしいとの報告があった。昔の関大のイメージはどこへ、まさか、女子大学になりつつあるのかな、と、嬉しいやら戸惑いやら複雑な想いだった。

また、楠見学長が日本私立大学連盟の理事及び副会長に就任されたとのこと。このことは本学から初めてのことであり、早慶に肩を並べることなのであると拝察し、母校の一層の向上をうれしく拝聴した。

事業報告では、ゴルフ部会について石田一幸氏（55商）から、関西六大学札幌OBゴルフ対抗戦での優勝の誓いを力強く宣言（別稿通り見事優勝）。パークゴルフ部会は大坊健二氏（39法）から、会員獲得が序々に成果を挙げている旨報告があった。新体制の総括については下地章二幹事長（41商）から、会計報告は石橋孝彦氏（52法）からそれぞれ報告があった。その後は、来賓の皆さんや校友間との交流を深めた後、逍遙歌斉唱により総会の幕を閉じた。

総会においては学歌・逍遙歌の斉唱は、数少ない機会の一つである。齢を重ねる度に青春のページが甦り、普段の生活では味わえない感激にむせぶ一瞬である。（広報担当 大坊健二）（松本陽一 011-778-6760）

世界文化遺産の里で総会 役員改選では全員を再選

富山県支部（山本勝徳支部長・45法）の26年度総会は6月28日、南砺市の五箇山合掌の里で開き、新卒、女性を含む21人が参加した。

山本支部長は、挨拶で「世界文化遺産の里へようこそ。母校を愛する気持ちは郷土愛と同じ。いろいろな意見を聞かせてもらい、皆さんとともに支部と関大を盛り上げていきたい」と述べた。

高橋幹事長（47法）が、前年度の活動、収支のほか支部年会費の納付状況を報告した。本年度は取り組みとして、①総会などへの参加者増加、②現役学生ら









■正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケータハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
 <その他取り扱い車種>メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、
 ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
<http://www.jiron-auto.co.jp>

〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間：(平日) 9:00～19:00 (土・日・祝) 10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

来賓の北嶋弘一校友会副会長は母校の近況に触れ、「現在、キャンパス4カ所に13学部を有し、併設校を含めた学生数は約3万5000人。女子学生が大幅に増え、全国レベルの実績・活躍も目立つ」と強調。2年後に迫った130周年記念事業の概要も説明した。

懇親会に移り、来賓の畑勝美事務局次長が乾杯を発声。昨卒の女性校友など初参加者のスピーチをはじめ、地元五箇山民謡の披露もあり、会場は大いに盛り上がった。最後に全員で逍遙歌を歌い、再会を約束して閉会した。

（幹事長 高橋正）
（高橋正 〇76-475-5726）



金沢香林坊で総会懇親会 演舞などで愉快な時間

石川県支部（岡野茂支部長）は、7月12日に金沢香林坊のエクセル東急で26年度の総会及び懇親会を開催した。

岡野支部長の挨拶に続き、会計報告・年度計画等の審議が円滑に進行した。本部から田中副会長、成岡事務局課長を迎え、お二人から大学及び校友会の近況をお聞かせいただいた。特に、田中副会長からは、石川県に応援団の後輩が7人在住しており、全員に支部総会に出席してほしい旨の手紙を書いて送ったところ、女性4人から返信があり、その内の一人・笹村育代さん（61文）に今回初めて出席してもらったとの紹介があり、参加者増にもお力添えをいただいた。

続いて、今井圭一顧問の北陸新幹線開業に向けての話と乾杯



で、懇親会が始まり、暫し歓談の後、恒例のカラオケ大会では支部長による黒田節演舞と八田幹事長の沢田研二ものまねショーなど、楽しく愉快な時間を過ごすことができた。（安土幸平）
（岡野茂 〇767-28-3508）

百名山の筑波山を踏破 古くから山岳信仰の山

神奈川支部（畑修支部長）山歩きの際は、5月22日に第7回の筑波山（つくばさん）登山を開催した。

今年の会のテーマは「関東平野を三方から観る」である。今回はその第一弾として北東部に位置する筑波山に登った。

筑波山は女体山と男体山から成る双耳峰である。最高峰である女体山は標高877mしかなく、日本百名山では一番低い山である。

今回7人の参加者は、筑波山神社で軽く柔軟体操を済ませた後、白雲橋コースをたどり、女体山の山頂を目指した。このコースは、弁慶茶屋跡（標高710m）までが森林浴コース、そこから山頂までが奇岩を楽しむコースとなる。

巨大な落石が岩の間に引っ掛かっている「弁慶の七尻り」に差し掛かると、全員の足が止まり、しばし自然の造形の素晴らしさに見入った。かの弁慶ですら、くぐり抜けるのが怖くて7回戻ったといわれるが、山歩きの際は全員、鼻歌交じりに1回でぐぐり抜けた。



身もすくむ絶壁の上にある女体山山頂の岩場から見渡す関東平野や霞ヶ浦の絶景は感動的でした。筑波山と男体山、その間を流れる川の名は男女川（みなのがわ）。古くから山岳信仰の対象だった山に登り、性について現代より大らかだった昔を頭に思い浮かべる。

登山道で一番急な御幸ヶ原コースを下り、麓の筑波山温泉「江戸屋」（入浴と食事場所）へ着く頃には、青空が消え去り、遠くに雷鳴が鳴り響き、大粒の雨が襲いかかってきた。走り込んで全員セーフ！

（代表世話役 小谷正廣・昭47商）
（畑修 〇467-54-0331）

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型署預(上用)謹製

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 昌 月 堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

厚生大臣賞
日本食品衛生協会賞



成年後見制度を勉強 若手校友情報交換会

東京支部（堺精一支部長）では、7月17日に関西大学東京センターで第6回若手校友情報交換会を開催した。

この会は、東京在住、在勤の若手校友のネットワーク作りを目的に3ヶ月ごとに開催しており、6回目の今回は、6人の初参加者を含め15人が参加した。

今回は、平成22年法科大学院卒の弁護士・廣石和也氏に成年後見制度について解説していただいた。高齢化が進むなかで判断能力の不十分な方を援助する制度としての成年後見制度の関心が高まっており、最近では弁護士や司法書士、社会福祉士などの士業で成年後見に関与する事例が増えていることなどからこのテーマを取り上げた。

廣石氏からは、遠方に老親を持つっている子のケースを例に、



制度が作られた目的や、どのような場合に利用するのかをはじめ、メリットや手続きの流れなどを、若手にも身近な問題として解説していただいた。

また、弁護士等の専門家が成年後見人となった場合の具体的な仕事の内容、将来成年後見が必要となる場合に備えた任意後見契約の仕組みなど、幅広い話をしていただき、参加者にとっても有益な情報交換会となった。

情報交換会終了後には、恒例となっている懇親会に移り、冷たいビールと熱々のお好み焼きで暑氣払いとともに参加者のコミュニケーションを深めた。

次回の若手校友情報交換会は10月に開催します。多くの校友の参加をお待ちしております。

（常任監事 村田樹二）
（村田樹二）090-4712-7137

17年ぶりに復活懇親会 十六銀行の十六千里会

岐阜千里会（松村公夫会長）傘下の職域組織である十六銀行の「十六千里会」（清水政秀代表）は、7月26日に岐阜市の岐阜キャッスルインで、17年ぶりに関西大学出身者による職域会の懇親会を復活させた。

十六銀行内の関西大学OB・OGで組織されている十六千里

支部の地域連携事業報告

府中まちかど寄席を開催 漫才と落語を生で堪能

備後支部（濱田宏志支部長）創立75周年記念行事で、社会連携活動でもある第1回「府中まちかど寄席」（無料）を7月5日に府中市の保健福祉総合センター「リ・フレ」で開催した。秋にはもう一つ支部発祥の地「尾道」でも「まちかど寄席（第2回）」を計画している。

初開催に当たって、「葦水寄席」の宝塚支部・三坂副支部長の指導の下、1年前から準備を進めてきた。落語になじみの少ない備後地域に、生の寄席を無料で提供し、地元の皆様が気軽に楽しんで笑って元氣になっていただきたいという願い。併せて開催場所近



郊の関大校友の掘り起しが支部の狙い。

広報機関はチラシ、新聞や「市の広報誌」を通じて関大の宣伝になった。来年以降も続けられたら、関大はきっと市民の記憶に残るだろう。また校友の参加も増えて来ることも期待できる。

当日、午前10時から会場準備に支部役員8人地元校友8人が参加。客席のパイプ椅子を300席組み立てなどなどに力を合わせた。「まちかど寄席」と「関西大学」の2種類の幟を会場の入り口や交差点などに立て準備完了。開演1時30分には、130人余りが来場スタッフと合わせると150人になった。

濱田支部長の挨拶の後、リスナップ2人による漫才で始まり、「府中は何も無いところだすね」でどつと笑いが。テンポの良い漫才でお客様を引きつけた後、落語の「子ほめ」（千里家まんま、「雨乞い源兵衛」（千里家芸夢）、「太鼓腹」（爪田家らいむ）と一気に3人が続いた。汗をかきながらの熱演、大阪弁のなめらかな口調に「面白かった。次はいつですか、また来たいです」と何人

もの方からうれしい感想をいただいた。

終了後、市内で校友18人と出演者3人は懇親会を開催、新校友とも一気に親しくなった。今回の寄席は130人の観客動員だけでなく、15人の新たな校友が来場し内8人が懇親会にも参加したことも、大きな成果になった。

「尾道まちかど寄席（第2回）」は、11月15日（土）午後1時半から4時に尾道市向島町のむかいしま文化ホール「こころ」で開催します。ご期待ください。
（福山包装・畦崎雅則）0849-43-1741

子供たちにサッカー指導 再発足30周年記念事業

滋賀県が日本一暑かった7





報告された。

次に、岐阜千里会からは十六銀行OBの宮地博幹事（50法、ハビックス常勤監査役）と前畑忠憲幹事（55経、テバ製薬常勤監査役）が参加し、岐阜千里会の活動状況や最近の母校・関西大学の千里山キャンパスの様子をパワーポイントの画像で紹介するなどして、会場は大いに母校愛で盛り上がった。

会は、平成7年ころまでは毎年新入行員歓迎会を開催していたが、平成8年から17年までの10年間は卒業生の入行が途絶え、職域での懇親会も開催されなくなっていた。

その後、18年から25年までの間に関大卒業生も入行し、昨年、岐阜銀行との合併も行われた結果、十六銀行の関大出身者の現役は現在31人を数えるまでに増加した。

そこで今回、31人中23人（うち女性2人）の参加を得て、職域会の懇親会を17年ぶりで開催した。

懇親会では、初めに、昨年まで岐阜千里会の職域代表者であった前可児支店長の林真司氏（57経）が、十六銀行グループである共栄ライフパートナーズの常務取締役就任したことから、新たに木曾川支店長の清水政秀氏（59商）が岐阜千里会の職域代表幹事に就任したことが

その後、入社年次の若い卒業生から順に自己紹介が行われ、同じ岐阜県内ではあるが、距離的に岐阜市から遠い下呂支店や八幡支店の卒業生、また隣県の三重県の桑名支店に勤務する昨年の卒業生など、各地から駆けつけた者も多く、合併した岐阜銀行出身者の卒業生とも、初めて顔合わせをすることができた。参加者からは、卒業生の先輩と初めて話すことができたとか、本部や身近な支店にも先輩がいることがわかって心強いなど、これからの毎年職域懇親会を開催してほしいとの要望が出た。

今後、岐阜千里会の総会やゴルフ会など、各種イベントにも積極的に参加して、関西大学の校友の輪を更に広げることが約して、復活職域懇親会は大成功裏に閉会した。

（岐阜千里会幹事 前畑忠憲
（松村工業・正田）058-271-3912）



退任の支部長と幹事長 お二人への感謝の集い

愛知支部（杉本秋男支部長を今日の繁栄に大いに貢献していただいた、森田前支部長（在籍年数16年）、原前幹事長（在籍年数9年）のお二人に、感謝の意を込めて支部役員で「感謝の集い」を、北京料理百楽名古屋店に26人が出席して開催した。

愛知支部を全国区にした森田

月26日、守山市ビッグレイクで、滋賀支部（今井清支部長の社会貢献事業である「学童サッカーフェスティバル」が開かれた。

地元守山市から4チーム、野洲市、甲賀市から1チームずつ計6チームが関大サッカー部の現役選手の下、午

前中は基本練習、午後からはリフティング、ニアピンゲーム、関大生の模範ミニ試合に続き、最後に各チームによる練習試合が行われた。

閉会式後、子供達から関大サッカー部のお兄さんと記念写真を撮りたいとの申し出があるほど打ちとけて、将来は関大

支部長のご努力は、ひと言で言えばなかなか真似の出来ない外にむけての「行動力」にあった。また原前幹事長は、森田前支部長の良き女房役として支部内をまとめられた。

当日は、出席者全員のコメントが書かれた色紙と花束を贈呈させていただき、お二人の労に少しは感謝の気持ちを表すことが出来たと思う。お二人には愛知支部運営に顧問の立場で、今後ともご指導いただきたく思っている。

これからは、杉本新支部長を中心にお二人の労に報いるべく、役員全員で支部運営に取り組んでいくことを誓った一日となった。

（幹事長 西川正・45経
（杉本会計事務所・杉本秋男）052-332-0211）

高野山・伽藍中門の再建
鳴海元建造物課長が講演
4月27日、26年度橋本支部



サッカー部に入って、Jリーグを目指したいという子供も現れ、母校サッカー部、関西大学の存在感をアピールする有意義な一日となった。

（広報部会長 奥村晴男
（加田幸雄）0749-22-5493）

（森下功支部長）総会を、本部の渡邊副会長はじめ近隣4支部の支部長を来賓に迎え、支部会員約40人が参加して橋本市教育文化会館で開催した。

総会では「紀の川橋本サマーボール2014」への前年度に引き続き参加等の活動方針案などすべての議案が異議なく承認された。

その後、地域貢献活動として開催した講演会では、高野山開創1200年を迎えるにあた

り、伽藍中門の再建に尽力された元和歌山県文化財センター建造物課長の鳴海祥博先生に講演をいただいた。

講演会終了後の懇親会では太鼓を通じて郷土芸能の保存と青少年の健全育成を図ることを目的に橋本市を中心に結成された紀州紀の川太鼓保存会の勇壮なる演奏もあり、会員相互の一層の親睦を深めた。

最後に参加者全員が肩組み合って逍遙歌を高らかに歌い、支部活動の一層の充実を誓った。

(坂本安弘
橋本市役所教育委員会教育総務課・坂本安弘 0736-33-1111)

台湾OB会李会長が乾杯漢舞の演舞や抽選会堪能

京都支部（牧村史郎支部長の26年度総会が、7月5日にホテルグランヴィア京都で開催された。

1部総会は、一ノ瀬隆一副支部長の開会の挨拶で幕を開け、牧村支部長の挨拶に続き本年度の活動報告、来年度の計画についての議事が円滑に進行した。

2部交流会は、来賓の寺内俊太郎校友会会長、池内啓三理事長からご挨拶をいただき、台湾OB会の李銘坤会長の乾杯にて開宴。美味しいお酒と料理に舌鼓を打ちながらそれぞれが近



況報告や思い出話に花を咲かせた。

会は初参加者紹介、母校の学生の祭りダンスサークル「漢舞」のアトラクションや恒例の抽選会で盛り上がり、さらに全員で肩を組んでの逍遙歌で頂点に達し、西村福治副支部長閉宴の辞で大盛会のうちに幕を閉じ、また次の再会を楽しみにお開きとなった。

まだまだ物足りない方たちは同ホテル内の2次会会場にて交流を深めた。下地辰徳・平17総(壽見芳正 0774-24-8008)

川床で清々しいひととき 貴船で恒例の懇親会開く

新緑の萌え、吹く風も夏めいてきた5月25日、美しい自然に囲まれた貴船の「ひろや」で恒例の京都支部洛北ブロック主催の懇親会が開催された。



総勢21人のメンバーが集まり、牧村支部長の挨拶、石田相談役の乾杯の発声により懇親会がスタートした。この日は前日までの季節外れの寒さとはうって変わって、天候に恵まれ初夏を感じさせる五月晴れの中、美味しい川床料理を堪能した。真夏の炎天下でも京都市内よりは5-6℃は低い貴船の川床、何時も以上にコミュニケーションの輪の広がりがあったように思う。

私事ですが、初参加にも関わらず多くの諸先輩に声を掛けていただき、非常に多くの事を学び、気付きがあり貴重な時間を過ごす事ができた。2時間余りがこんなにも短いのかと思うほど濃厚な時間だった。西村副支部長の締めめの挨拶で会は終わり、その後、貴船神社に全員でお参りし、記念写真を撮って散会となった。(平井隆之・平20丁)

小西酒造の長寿蔵で総会 興味深くビールの話聞く

7月19日、白雪ブルワリービレッジ「長寿蔵」で伊丹支部(加藤拓支部長) 26年度総会が来賓、支部員合わせて58人の出席のもと開催された。

第1部総会は、中尾益彦氏(53商)の司会で進行、物故校友への黙祷、加藤支部長(40工)の挨拶の後、議事に入り、上程された6議案について慎重審議の結果、全て承認された。

第2部講演会では、小西酒造(株)クラフトビール事業部長の山口渉氏から、「KONISHI BEERの魅力」と題し、ビールのスタイルとしてピルスナー、エールについての説明、創業460年の清酒醸造技術との融合を図ったビールの製造、常時製造ビール、シーズナルビール併せて10種類のビールについての



THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ



東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所

平成25年度 **1級建築士** 設計製図試験

全国 No.1 合格者占有率

37都道府県での開講にもかかわらず全国の合格者の
およそ6割が当学院現役受講生!

合格者占有率 **55.8%**

全国合格者4,014名中、当学院現役受講生2,238名

関西大学 平成25年度 1級建築士合格者

卒業合格者45名中、31名が
当学院の講座を利用して合格されました!

当学院利用率 **68.9%**

※卒業学校別合格者数は、試験元である(公財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。 < 平成25年12月19日現在 >

平成25年度 **2級建築士** 設計製図試験

当学院教室開講都道府県ストレート合格者のおよそ2人に
1人は当学院の現役受講生!!

当学院教室開講都道府県
学科・製図ストレート
合格者占有率 **45.4%**

当学院教室開講都道府県ストレート合格者2,999名中、1,363名
< 平成25年12月5日現在 >

平成25年度 **宅建** 本試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率 **82.9%**

8割出席・8割宿題提出・公開統一
模試得点率8割以上現役受講生
252名中、合格者209名
< 平成25年12月4日現在 >

1級建築施工管理技術検定

[平成25年度 学科試験]
当学院基準達成 現役受講生
合格率 **95.2%**

8割出席・8割宿題提出現役受講生230名中、合格者219名
< 平成25年7月19日現在 >

[平成24年度 実地試験]
当学院現役受講生 合格者数 **956名**

< 平成25年2月7日 現在 >

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、
過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 **無料体験入学実施中!** お気軽に下記最寄校まで!

1級・2級 建築士	構造設計1級建築士
1級・2級 建築施工管理技士	宅地建物取引主任者
1級・2級 土木施工管理技士	インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(一社)日本経済団体連合会 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(一社)日本建築学会 宅建登録講習機関 登録番号 第009号
(一社)全国建築業能力開発団体連合会 宅建登録実務講習実施機関 登録番号 第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
一般建築士定期講習 登録番号 第5号 管理建築士講習 登録番号 第2号
経済産業大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-253-0481
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511

今すぐウェブ検索 ケータイサイトも充実

総合資格 検索 <http://gakuin.jp/>

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りです。

www.shikaku.co.jp

学院長 **岸 隆司** (法48卒)

特徴、製造法、料理との相性
等々興味深いお話をいただいた
なお、「KONISHIスノー
ブロンシュ」は世界3大ビール
コンテストで2冠を獲得したと
のこと。

第3部懇親会の開宴にあた
り、黒澤花衣第92代應援團長指
揮による学歌斉唱の後、来賓の
方々を紹介、渡邊校友会副会長
と特別来賓としてご臨席をいた
だいた藤原保幸伊丹市長のお二
人からは、それぞれ丁寧な祝
辞を頂戴し、出席者の最年長者
である戸田龍馬(26法)先輩に
よる乾杯(乾杯は清酒発祥の地
に因み日本酒で)の発声のもと
懇親会に入った。

出席者全員、盃、ビールグラ
ス(各種KONISHIビール
を傾け、和気藹々の中、予定時
間もあつという間に過ぎ、府上
沙綾第92代應援團副團長の指揮
により逍遙歌を斉唱。母校関

大、校友会伊丹支部の更なる発
展と参加者全員の健勝を祈念し
た福武信子副支部長(48文)の
閉会の挨拶で閉宴となった。

(広報部長 古屋敷達夫
(ヒラク・加藤拓) 072-7
85-5507)

**うず潮眺めつつ支部総会
バンド演奏で全員が合唱**

26年度淡路支部(佐藤幸平
支部長・淡浪会) 第6回総会
が、南あわじ市・鳴門みさき荘
で7月13日開催された。

来賓を含めて35人が、鳴門海
峡のうず潮をまたぐ大鳴門橋を
バックにした記念撮影のあと総
会が始まった。

佐藤支部長挨拶の後、来賓の
三木允子校友会副会長が「現役
関大生2万8000人のうち女
性は1万1000人(40%)を
占めている。2016年は関大
創立130周年を迎える。記念

イベントを成功させましょう」
と母校の近況を述べた。

議事は、25年度事業報告・収
支決算報告、26年度事業計画
案・収支予算案がすべて承認さ
れた。

総会終了後、懇親会が始まっ
た。乾杯のあと暫しの歓談が続
き、いよいよアトラクションの
オープニング。昨年からデビュ
ーした「関大ダンディーズ&お
姫」の登場だ。ギター、キーボ



ード、サックスとそろったバン
ドは、昨年より大幅にグレイ
アップし、すばらしい歌と演奏
を聴かせてくれた。

ここで、サプライズが飛び出
した。女子会による「翼をくだ
さい」の合唱が始まったのだ。
会場は一気にヒートアップ、手
拍子が響き渡った。バンドの最
後には「ふるさと」を参加者み
んなで合唱した。

これで終わりの思いきや、さ
にあらん。校友の飛び入りで
「俵屋玄蕃」をアカペラで8分
間熟演、それを受けて来賓の飛
び入りで「刃傷松の廊下」をア
カペラで熟唱。一同大満足の大
きな拍手を贈った。

瞬く間に時間が過ぎて、最後
に逍遙歌を合唱し、万歳三唱の
あと、細田副支部長の閉会の挨
拶で散会となった。来年も楽し
い企画を期待下さい。

(副幹事長 佐渡達史



(音田誠二) 0799-62-0
055)

**明石の旧跡訪ねて10キロ
15人参加でウォーキング**

明石関大クラブ(清原博會
長)は、快晴に恵まれた4月27
日、明石の魚住地区から大久保
地区、そして終点の江井ヶ島地
区までの約10キロ間の旧跡を訪
ねた。

参加者は清原会長を筆頭に15



**柴木久美新支部長が就任
柴田市長が健康長寿政策**
河内長野支部（榎本正人支部長）の26年度総会が、7月6日に河内長野市で開催された。来賓として、田中義昭校友会副会長はじめ隣接4支部代表、校

友の芝田啓治市長を迎え、出席者は50余人を数えた。
第1部の総会は、後藤副支部長の司会で物故者に黙祷、学歌斉唱、支部長挨拶と続き、任期満了で退任される榎本支部長は校友会行事への積極的参加を強く呼び掛けられた。来賓を代表して校友会田中副会長から大学の近況報告と祝辞をいただいた。議事に移り、青谷副支部長が議長に選任され、25年度事業報告と決算、会則改正、役員改選、26年度事業計画案と収支予算案が、いずれも原案通り承認された。新支部長に就任した柴木久美さん（57文）から支部の更なる発展と活性化のために、なお一層のご協力を！との挨拶があった。

第2部は、支部会員の古橋秀章氏が「健康寿命の長期化を目指して」をテーマに講演された。「死ぬまで健康、翌日老衰で死去」を目指して、自分自身の体験（食生活の改善、運動療法等）をふまえながら、介護施設に入らず一生を健康で終えるために実践すべきことを具体的に述べられ、詳細なデータに基づく非常にインパクトのある内容であった。
健康で長寿の河内長野を目指す芝田市長からは、市の高齢者対策の取り組みとして健康長寿部を新設し、健康ポイント制の

導入を検討しているとのコメントをいただいた。講演終了後、全員で記念写真撮影して第2部終了。
第3部懇親会は、中村修本部事務局次長の乾杯発声で開宴し、昨年同様の趣味別の配席にしたお蔭で、馴染みのない同士でも話題が盛り上がり、更に初参加の方の紹介もあり、盛会のうちに逍遙歌を合唱し散会した。（書記 廣瀬良治）
（かとう法律事務所・加藤安宏 06-6311-2235）

**隅谷支部長以下全員留任
副支部長に草川氏加わる**
6月28日、アゴーラ・リーゼンシー堺で堺支部（隅谷哲三支部長）の総会が、竹山堺市長、永田関西大学常務理事、寺内校友会会長や近隣支部代表の方々を迎え、受付を関大女子学生が手伝い校友90人の出席で開催された。
第1部は、宮内副支部長の司会で、君が代と学歌斉唱、物故会員へ黙祷を捧げた後、隅谷支部長の挨拶に続き演壇に立った寺内校友会会長は、堺支部の校友会活動への協力の謝辞と国歌斉唱の感動に加え、創立130周年事業への協力と全関大人の絆を力強く訴えた。楠見学長からの祝電の披露に続き、議案審議は、議長の隅谷支部長の進行



で、各議案は原案通り承認された。役員改選については、選考委員会を開いた結果、天井選考委員長から発表され、隅谷支部長以下監査まで全員が留任となった。加えて草川大造氏が新たに副支部長に指名され、全会一致で承認された。
第2部は、府立高校で国語や堺学の教鞭を取った北村修治氏が「すべての道は堺に通じる」のテーマで講演を行った。氏の教師人生や、公私の活動を織り交ぜ、北緯34度32分の太陽の通り道と直下の伊勢斎宮や長谷寺、箸墓から堺の家原寺や大鳥大社等の史跡に纏わる興味深い話であった。
続いて全員で記念写真の後、隣室に移動、第3部は寺脇幹事の司会で進行。先ずOBと現役の邦楽部が『和春調』『千鳥の曲』『越後獅子』の演奏で花を

添えた。来賓挨拶は、竹山市長が、今年多数の関大生の入庁の報告と、住吉大社の祭祀で関大生が神輿を担いだお礼を述べ、永田常務理事からは、人間健康学部を通じ関大と堺市の緊密化についての話があった。

堺市役所関友会野口会長の発声で乾杯。懇親の宴に入る。恒例のオークションやビンゴゲームなど大盛況。大興奮。瞬く間に時は過ぎ行き、杉崎氏の指揮で逍遙歌を高唱した。帰りには谷本会員のつば市製茶本舗から寄付いただいたお茶と、丸市のお菓子などをお土産に散会した。
初出席の小林洋司住吉支部長は、「隅谷支部長とは関大の同級生で、氏は私たちの奨める蜂須賀様にも賛同いただいている。堺支部総会も派手で良い。わが支部も月に一度イベントをして頑張っている」。初参加の小谷保雄さん「初めてだが楽しくスムーズに入れた。何時か参加したいと思っていた。大阪大学に勤務中。同じく初参加の柿埜武さんと野原弘行さん「誰も知らないで話し難い。関親会に参加して親交を深めたい」。（野原さんは勤務地の高知県からの参加）
（鍋島均志 072-284-1412）
（鴨頭光二）

新支部長に川部氏選出 ゲストに池乃めだか氏

守口支部（平井治支部長）26年度総会は、台風一過の7月11日、ホテルアゴーラ大阪守口で支部総会初めての試みである家族会員7人を含む69人が参加して開催された。

篠原勝幹事長の司会のもと、学歌斉唱後、昨年8月に逝去された元守口市長の喜多洋三顧問をはじめ物故校友の冥福を祈って黙祷した。平井支部長、澤井良一市議会議員がそれぞれ挨拶のあと来賓の方々を紹介し、続いて議長に石井雅敏氏を選出し議案の審議に入った。

25年度の事業報告及び収支決算報告と、26年度の事業計画案及び予算案はいずれも満場一致承認。2年に1度の役員改選については、執行部の若返りを図るという視点から支部長に川部政彦（51法・新）、副支部長に伊藤榮保（42法）・伊勢重治（44法・新）・城洗造（44商・新）・渡辺安彦（53工・新）を、幹事長に北町収（53経・新）を、会計監査に石井雅敏（44経・新）・伊東章（44法）の各氏を、役員会の総意として候補者に決定したことが幹事長から提案され、満場一致で承認された。続いて、新正副支部長及び幹事長が壇上に立ち、代表



して川部新支部長から決意の披瀝と協力お願いの挨拶があった。来賓を代表して田中校友副会長から祝辞を受け、2部の懇親会に移った。三木宏四條畷支部長の音頭で乾杯の後、4人の新入会員に壇上で自己紹介をしていた。

この日のスペシャルゲストは、地元土居小学校、第一中学校出身の池乃めだか氏で、小学校で同級生だった篠原幹事長との紹介を兼ねた想い出話のやりとりの後、会場のリクエストにこたえて「人生劇場」や「おまえに」など次々と見事なノドを披露。「守口市歌」をフルコース唄ったときには、会場はみな驚きと賛嘆の拍手が鳴り響いた。続いて、役員有志が提供してくれた写真や色紙、ワイン、時計、お米などのくじ引き抽選で会場がわき、最後に杉本國雄氏のパフォーマンスたっぷりのリードで逍遙歌を歌い、熱気的な

か終了した。

（前副支部長 山本護）
（北町収 06-6991-0169）

7千株のアジサイを鑑賞 ウインナー作りや入浴も

守口支部第32回バスツアーが6月28日に行われ、平井支部長夫妻をはじめ澤井良一・服部浩之両校友市議会議員、それにゲストの永盛啓司校友支部幹事長など31人が参加した。

午前8時に守口市を出発して近畿道、西名阪道、阪奈国道を経て三重県伊賀市に到着。最初に訪ねたのは伊賀市川北の木の館豊寿庵。ここには1万坪の大庭園があり、小雨まじりの中、7千株のアジサイの花を鑑賞しながら園内を散策した。ここで記念撮影をして、昼食場所の「とろろ庵伊勢路」へ。1週間



前に川部副支部長夫妻がわざわざ下見してきたお店だけに、とろろ御膳は見た目も味も量も文句なしで、今回も大満足の昼食だった。

午後は伊賀焼の郷「長谷園」へ。江戸時代からの16連登り窯が保存されているほか、大正建築の旧事務所では自動販売機のコーヒーが伊賀焼のカップで飲め、あとは持ち帰りができるとあって大変な人気だった。

次に、バスの車中で誰かが話題にしたお気に入りの美人店員がいるという道の駅「あやま」に立ち寄り、皆で顔を拝見した後、最終目的地のモクモク手づくりファームへ向かった。ここでは、希望を募ってウインナー作り体験組と「野天もくもくの湯」の入浴組の二班に分かれた。ウインナー作りは90分かかると、入浴組はいつもよりゆつくりおふろを楽しめ、そのあとも湯上りのビールでのどを潤したり、ショッピングを楽しむことができた。

帰路は、ビンゴゲームを楽しみながら新名神から第二京阪を経て、午後6時20分に守口に帰着した。（山本護）

河内木綿総会として開催 保存協会の村西氏が講演

八尾支部（中尾達夫支部長）は6月28日、八尾市文化会館で

26年度総会を、本部から植田芳光副会長らと近隣7支部、八尾市役所開大会の代表者をお迎えして開催した。当日は、5人の初参加者もあって、新鮮な雰囲気総会が進行した。

植田副会長から、母校の状況、校友会の活動等の報告と母校創立130周年記念事業に向けて、募金の要請があった。

議事は肅々と進行し、長野昌海副支部長（元八尾市議会議員）の卓越した議事運営により、議案のすべてが満場一致で採択された。

引き続き講演会へ移った。八尾支部は平素、地域に密着した活動に重点を置いている。今回の講演会は八尾の伝統工芸文化に着目し、八尾にお住まいで関西大学OBでもあった河内木綿文様研究家の故辻合喜代太郎博



士に関連したお話を、NPO法人河内木綿藍染保存会の村西徳子理事長に講師を依頼した。

村西理事長は中尾支部長との対談形式の講演を希望され、2人が登壇し、河内木綿と辻合博士との出会い、思ひ出話、そして河内木綿の現状と課題、未来に向けた伝統の継承につき熱くお話を伺いできた。

宴会では、各支部代表から支部現況報告をいただき、応援団OB長柄会（H部）の大江正則氏の指揮の下、逍遙歌を声高々に歌い上げ、青砥申生前支部長の万歳三唱でお開きとなった。帰りの際、出席者全員に記念品として河内木綿藍染のTeeブルセーターがプレゼントされた。

（広報担当副支部長 南野佳子）
（中尾達夫）072-998-3526 Mail=jn3wdy@kjp.sonetnet.jp

河内音頭踊り方教室を 河内音頭記念館で開催

8月17日、八尾支部は支部主催で「河内音頭踊り方教室」を開催した。会場はテレビ、ラジオでお馴染みの音頭取りである河内家菊水丸師が館長を務める河内音頭記念館で実施した。当日は同館の2階フロアを、講意により無料でお借りした。講師も同館のスタッフが快く引き受けて頂いた。



開始当初、暑い中でもあり、お盆の時期でもあったので参加者人数に多少の不安もあったが、無事に開催することが出来た。当初想定した人より少なかったが、参加者は熱心な稽古で上達は目を見張るものがあった。踊りの稽古は河内音頭の基本の踊りである「手踊り」を学ぶことになった。

先ず講師の声に合わせ足の運びから始まり、手の動きへと移り、みっちり30分間は基礎練習をした。メモをとる熱心な校友もいた。暫時休憩を挟むが、自習をする校友もいた。後は実際にCDで音頭を聞きながらフロアを十数周踊り回り、講師より各校友に対し細かく個人指導があった。

当日の様子について、八尾市観光協会の取材もあり、同記念館からもホームページへの掲載の同意も求められ、八尾支部のPRとなるので、快諾した。今回のこの教室への参加者

は、何処の盆踊り会場へ行っても元璧でしょう。

最後に9月7日の八尾・久宝寺陸上競技場で開催の「八尾河内音頭まつり」での再会を約束して散会した。（中尾達夫）

130人超す参加で盛会 福引にガンバ選手グッズ

茨木支部（別處）一支部長の26年度総会が、8月7日にホテル阪急エキスポパークに、上原法人相談役はじめ渡邊校友会副会長など多くの来賓、現役応援団を迎え、130人を超える校友の参加の下、盛大に開催された。

第1部総会では、齋藤勝幹副支部長の司会進行により、応援団第92代黒澤花衣団長による学歌斉唱で始まり、相談役はじめ校友会や近隣支部そして関関同立龍の五大学などの来賓紹介の後、別處支部長が挨拶。上原相談役、渡邊副会長、校友である木本保平茨木市長からも、定時総会の開催にあたりご祝辞をいただいた。

その後、田村副支部長を議長に議事に移り、事業報告や予算、役員改選など承認され、今年度から3年間、別處支部長以下役員一同、茨木支部の発展のため心一つに取り組んで行くことを誓った。

第2部懇親会では、校友会の

東郷洋事務局長の乾杯の発声で開宴。歓談に入り、学生時代の思い出話や近況を語りあうなど、久しぶりに会う校友と旧交をあたためた。

応援団・チアリーダーの演舞、現役学生の素晴らしい演舞演奏に対し、今後も活動の激励の意味を深く込め、盛大な拍手が会場いっぱいとなった。

恒例の福引きに移り、マスクメロンや白桃など果物から特賞の旅行券など豪華賞品を取り揃え、抽選が始まった。参加者全員が一喜一憂し、当選者の周りで拍手や歓声が起こり、和やかに終始した。

今年は、最後に茨木支部会員である大阪府サッカー協会理事の足高氏のご配慮で、ガンバ大阪の岡崎建哉君から、サイン入りスパイク・日本代表の遠藤のサイン入りユニホームレプリカなどの提供があり、特別賞とした。



て提供した。あろう事か、支部長関係者に当たり、ブーイング（皆さんうらやましいからのブーイングであろう）。

閉会にあたって、福田博行副支部長が茨木支部実施行事への積極的な参加を、そして更なる発展を祈念し閉会の挨拶を述べ、お開きとなった。

（幹事長 小西盛人）
（別處）072-634-6613

昨年以上回る40人参加 落大14代部長が落語

7月26日、池田市文化会館で池田支部（井上彰支部長）の総会と懇親会が開催された。今年は早くから広報しており池田市在住の校友に広く周知で



きたことや、土曜日開催ということもあってか、昨年を上回る40人が集まり（初参加は13人）、また多数のご来賓にもご出席いただくことが出来た。

懇親会に先立ち、今回はアトラクションとして、文化会落語大学第14代部長の「爪田家らひむ」こと矢野宗宏氏（54法、ユ一モアコンサルタント）の古典落語「道具屋」を聞き、会場は笑いの渦に包まれた。

興奮冷めやらぬ中、懇親会へと移り、来賓として本部の渡邊泰之副会長や近隣支部の支部長・役員をはじめ、校友の高木池田警察署署長、そして小南池田市長のご臨席もいただいた。

石田幹事長の司会で懇親会が始まり、学歌斉唱、支部長挨拶、来賓の紹介と挨拶に続き、顧問の乾杯の発声で食事と歓談がはじまった。多くの校友が旧交を温め、あるいは初参加の人たちとの新たな出会いに喜び、和やかな雰囲気の中での宴会を楽しんだ。

2時間近くの宴会の締めは、今回初参加ながら応援団リーダー部の北野倫也君（平24法）のリードで逍遙歌を合唱、山元建顧問の閉会挨拶で名残惜しくも散会となった。（幹事 尾崎博彦（井上章）072-753-5645）

世紀の大奇術ショー開催 奇術研究部学生2人招き

淀川支部（山本章一支部長の26年総会及び懇親会が、6月28日に十三のホテルプラザオーサカで開催された。

あいにくの小雨模様であったが、三木校友会副会長、田中大阪市内支部連合会会長、近隣支部の役員という来賓の方々を含め、総勢27人の出席をいただき、総勢をあげた。

支部会員による総会は、福田総務の司会で報告、決議共に滞りなく進行し、スムーズに終了した。

総会終了後、豊原幹事の軽妙な司会による懇親会が開催され、三木校友会副会長の挨拶から始まり、成岡課長の乾杯の発声の後、各テーブルで歓談、酒杯の交換が行われ、皆さま大いに盛り上がりつつある様子であった。



懇親会では、今回初めての試みとして奇術研究部の学生2人に来ていただき、「世紀の大奇術ショー」を開催した。

演じる方もベテラン、見る方もベテラン揃いという状況の中、シナジー効果が生じたためか、私たち役員の想像以上に場が盛り上がり、各テーブルでは歓喜・歓声の大渦がさながら鳴門の海のように幾重にも発生するほどであった。

懇親会の締めでは、田中会長のご挨拶と岸本幹事長の閉会の辞の後、恒例の肩を組んでの逍遙歌合唱、再会を約しつつ各々十三の街へと繰り出して行った。

（支部長 山本章二）
（協和エステート・西島義人）
06-6885-7087

阪神・吉本・大阪経済 宮本教授が興味深い講演

福島支部（宮腰健次支部長の26年度総会が、6月21日にホテル阪神で開催された。校友会本部から田中義信組織部長らを迎え、30余人の校友が出席のもと、定刻に西村副支部長の開会の辞でスタート。学歌の斉唱と物故者への黙祷が行われた。

宮腰支部長の挨拶では、支部が提案して完成した「福島学舎跡記念碑」が何者かに壊されたが、関係者の協力で無事復旧できたという報告などがあり、驚



く、支部念願の事業であっただけに、復旧を喜び、関係者にお礼が述べられた。続いて田中組織部長から祝辞と校友会行事ほか、130周年記念行事の計画など、大学の現状が熱っぽく報告された。

議長に今井副支部長を選出して議事に入り、事業報告、決算／監査、役員改選とすべての議案を無事終了。留任の宮腰新支部長からは重任の決意が述べられた。

今回は、支部としてはビッグな特別講師として、本学大学院の教授でテレビでも活躍の宮本勝浩先生をお迎えして「阪神・吉本・大阪経済」と題して興味深いお話を聞く。

梅田の開発計画や、あべのハルカスなど、具体的な経済効果の読み違いに「大阪のおばはんのするどいセンスがあったなど、生きた経済論が面白く、会場は盛り上がり、あつと言う間の一

時間だった。その他、宮本先生の経済統計学は「阪神優勝の経済効果」「くだおれ人形の経済効果」「天神祭の経済効果」「藤波投手阪神入団の経済効果」などなど、研究テーマが身近で親しめる。

講演のあと、司会は谷口幹事長にバトンタッチされ懇親会へと進行。中村修事務局次長の祝辞と乾杯の発声があり、宴が始まった。

今年は特別講演が一時間たっぷり、恒例のアトラクションはなかったが、宴半ばで羽間平安元理事長のスピーチがあり、懇親会を盛り上げる。最後は恒例のお楽しみ抽選会となり、賑やかなうちにフィナーレを迎え、記念撮影のあと、宮腰新支部長の元氣な美声のリードで逍遙歌を合唱、お開きとなった。

（副支部長 西村公郎）
（宮腰健次）06-6453-0519

東淀川の神社につき講話 地域の歴史や文化に感動

7月6日、東淀川支部（田中正紀支部長、26年度総会及び懇親会が淀川区のホテルコンソルトで開催された。

第一部総会は、応援団第92代副団長の府上紗綾さんのリードによる学歌斉唱で開会し、1年間の活動報告や会計報告、今期



も引き続き田中支部長体制での支部活動案などの議事、議案が滞りなく承認され終了した。

第2部では、来賓に寺内校友会長、東淀川区の金谷区長（54年卒）、市内各支部からの来賓13人を含め総勢38人の出席で懇親会が開催された。記念写真の撮影、田中支部長の開会挨拶、寺内校友会長に来賓挨拶をいただいた後に、田中義信大阪市内支部連合会会長の発声で乾杯し、開宴。

途中、沢勲西淀川支部長による「東淀川区にある神社の歴史や由緒」についてのセミナーもあり、3世紀から続く地域の文化や歴史に改めて感動を得た。また、今回は6人の初参加者があり、自己紹介をお願いした。その中で、速記部が全国大会50連覇、池田泉州銀行には630人もの校友がおられるなど、参加者からは拍手と驚きの声もあ



がった。恒例のお楽しみ抽選会では、安倍総理の色紙やプロ野球オールスター戦のペアチケットなど、校友から持ち寄った多くの賞品を目指して大いに盛り上がった。

最後に、全員が円陣を組み、再び府上副団長のリードで逍遙歌を合唱し、三木相談役の言葉で閉宴となった。

（幹事 門脇廣幸・54経
田中正紀〓06―6328―4162）

次回は倍増の出席者を組織強化に努力を誓う

東住吉支部（福田尚武支部長）は、7月5日に天王寺都ホテルで校友21人の出席のもと定期総会を開催し、本部の植田芳光副会長、大阪市内連合会の田中義信会長はじめ近隣支部より役員の出席をいただいた。

学歌斉唱のあと福田支部長の挨拶があり、事業報告、会計報

告及び事業計画案を審議し、満場一致で承認した。東住吉区民フェスティバルへの模擬店出店、会員の増大を目指して今後の組織強化に努力するよう誓いあった。

その後、植田副会長から校友会活動の現況と大学現況等について報告があり、田中市内支部連合会会長からも活動状況の報告があった。

第二部の懇親会が、中村潤一郎相談役の挨拶、乾杯の発声でスタートした。支部活動の方針としていろいろな意見・要望があり、今後の目標とすることに。また、自己紹介では、各世代の話や体験談など楽しく語り合った。

最後は、支部会員の高一弘応援OB長柄会（Ⅱ部）副会長のリードで、全員が輪になって逍遙歌を合唱し、次回の出席者は今回の倍増を目指して頑張ろうと約束して建林延欣幹事の挨拶で閉会した。

（幹事長 村上靖
村上靖〓06―6719―4444）

**マンドリンが妙なる調べ
ビンゴ残念賞を全員に**

6月28日、大阪キャッスルホテル3階・錦城閣で鶴見（迫匡支部長）・都島（香西安勝支部長）両支部の26年度支部総会が



開催された。

両支部は、各々の部屋での総会が滞りなく終了し、6時から合同懇親会の会場に参集した。

合同懇親会には、校友会本部、市内支部連合会ほか、近隣の10支部からの来賓を迎え、記念撮影の後、学歌斉唱と物故者への黙祷が行われた。

香西都島支部長の開会の挨拶の後、来賓紹介、来賓挨拶と続き、特に今回は関西大学マンドリン倶楽部による演奏があり、マンドリンの妙なる調べに暫し聞き入った。

食事歓談中に鶴見支部による恒例のビンゴゲームが始まり、扇風機、秋田コマチのお米など多彩な賞品に、一同ビンゴ！残念！と楽しい時間を過ごした。賞品は残念組にも配慮されており、トートバッグ等の残念賞が

皆に配られた。

ゲームの締めくくりとして参加支部12の代表一人ずつのジャンケンゲームがあり、勝ち抜き者の3人にはワインボトルが贈られた。

司会の仁井ひろみ都島副支部長が閉会の時間を告げ、香西都島支部長のリードで「嵐劈く鳳の」を合唱。歌い終わってこぶしを振り上げフレイ・フレイと本日の合同総会を祝い、迫匡鶴見支部長の閉会の挨拶で閉会となった。

（都島支部幹事長 北本浩三
鶴見支部 迫匡〓090―5017―8420、都島支部 香西安勝〓06―6922―4862）

**関大魂が点火・炎上！
明治大が隣でパーティ**

7月19日、旭支部（秋田好廣支部長）は、田中校友会副会長はじめ近隣3支部の代表をお招きし、天満橋・錦城閣で定期総会を開催した。

当支部が新体制になって初めての定期総会。支部旗も新調し、気合を入れて臨んだところ、隣の部屋で明治大学校友会による大人数のビアパーティがあることがわかり、関大魂に炎が点火！「志願したい大学ランキング」で関東エリア6年連続1位の明治大学に、関西エリア7年



連続1位である我らの母校が負ける訳にはいきません。廣内幹事長を先頭に、参加者一同、隣の会場まで響くほどの声での学歌（六甲おろし）ではありません、斉唱となった。

第1部の総会では、提案された6議案すべてが承認された。第2部の懇親会は、参加者からの近況報告を肴に楽しい宴席となり、参加者全員に賞品が当たった。最後に肩を組み追遠歌で交友を深めた後、顧問・富田健治府議からの閉会の挨拶で締めくくりとなった。

（広報部長 富田忠泰）
（秋田好廣）06-6954-2433

**初参加の4人が自己紹介
130周年事業にも協力**
6月21日、大阪天満橋・錦



城閣で50人の参加を得て城東支部（後藤憲之支部長 総会を開催した。

総会では全議案が承認された後、今回初参加の校友4人が自己紹介をされ、歓迎の大きな拍手で盛り上がった。

懇親会は、後藤支部長のいつも以上のユーモアいっぱい挨拶でスタートし、来賓を代表して渡邊校友会副会長から母校の近況、創立130周年事業協力をお願い等を交えて挨拶をいただいた。

迫匡鶴見支部長の乾杯の発声で大宴会が始まった。和気藹々の懇談が進む中、ゲストのチャリダー・クレアーズの若さあふれるパフォーマンスで大いに盛り上がった。

その後、ビンゴゲームで大いに沸き上がり、最後に横内校友

の指揮で追遠歌を声高らかに歌い、城東支部の団結と母校創立130周年事業への参画と成功を期してお開きとなった。

（近藤正昭）06-6935-5545

3年前からネット総会 講演は宮本大学院教授

6月29日、此花支部（平岡昭雄支部長）の第22回総会がホテル阪神で開催された。

第2部で例年講演会を開催しているが、今年の講師にはちんぷいぷいなど大阪テレビ局に出演されている経済効果予測の第一人者、大学院会計学研究所教授の宮本勝浩先生をお招きし「大阪経済の活性化策」阪神、此花、USJ」と題してお話を伺った。時流をとらまえた、判り易い、ユーモアを交えた話に時のたつのも忘れた。

懇親会は、先生も参加いただき、現役応援団3人が出演した。団長、副団長は可愛らしい女性である。それが学歌斉唱、追遠歌合唱となると一変、男性顔負けの凛々しさとなる。流石、歴史と伝統ある応援団である。

大阪市内支部連合会西ブロックの各支部長や団体の会長さんの力強い含蓄のあるスピーチには感激した。

当支部は、3年前からパソコ



ンに議案書、過去1年間の活動を編集しなおし入力、プロジェクトを使って画面に投影するいわゆるネット総会を行っており、活動状況が手に取るようにわかる。会員に好評で、来賓の皆さまも吃驚されていた。

2年後の母校創立130周年の記念事業への協力も話題に上り、母校を盛り立てようとの機運も広がった。

マッターホルン登攀間く 現役体育会活動の現状も

北支部（福田平司支部長）は、26年度総会を6月27日に64人が出席してガーデンシティクラブ大阪で開催した。

第1部は、市田利夫幹事長の司会進行で、学歌斉唱・黙禱・

福田支部長挨拶・議事と進み、梶本雅憲副支部長が来賓を紹介、寺内俊太郎校友会長から祝辞をいただいた。終了した。

第2部は、近藤亮介副幹事長の司会進行で、山岳部OBで1969年7月に日本人初のマッターホルン北壁単独登攀記録を持つ福島博憲氏が、当時の状況などについて講演された。

田中義信市内支部連合会長の乾杯の後、加藤安宏学生支援部長から司法試験合格に関する学生支援部としての取り組みについてのお話があった。その後、当支部会計の古屋敷博文氏とバンドメンバーによるジャズ演奏を楽しみ、さらに関大スポーツ編集局の野上真菜さん、藤田奈央さんによるスポーツ活動の現状の報告と続き、「ALL関大」としての話題は尽きることなく、多いに盛り上がったのだ。



（副幹事長 宮本明造）
（市田利夫司法書士事務所 06
— 6375 — 1336）

チンチン電車貸切パーティ 天王寺から浜寺の折り返し

今年の阿倍野支部（松田充弘支部長）の行事は、昨年と同じ5月の帝塚山音楽祭「万代池ラウンド手作りバザー」の出店に続き、7月の阪堺電車貸切パーティを計画した。

7月12日、大阪に今も残る路面電車の阪堺電車（通称チンチン電車）を一輛借り切って車内パーティが行われた。

参加者は、阿倍野支部員のほか、野島努富田林副支部長・小林洋司住吉支部長・福田尚武東住吉支部長をはじめ大阪中央支部・西支部・天王寺支部校友のご家族とのお友達（お子様2人も含む）にも参加いただき、総勢30人で出発した。

コースは、「天王寺駅前」を



出発したあと住吉大社のある「住吉島居前」を経て、堺の「浜寺駅前」を折り返す約2時間で、車内を宴会用に飾り付け、料理は住之江校友で「懷石料理 徳」を運営されている鷺岡様から届けていただき、窓には外から見えるように「関西大学校友会阿倍野支部」の支部旗を飾り、沿線の市民に関大校友会をPRした。

パーティは、松田支部長の挨拶のあと乾杯で始まり、のんびり走る電車と対照的に参加者は最初から快調によく食べよく飲まれていた。沿線は「天王寺駅前」から、田中副幹事の勤め先である「阿倍野」、松峯副支部長の仕事場のある「松虫」、壺坂会員の自宅の最寄り駅である「東天下茶屋」、林幹事の自宅が見える「北畠」、中塚幹事が宮司を務める阿部野神社の最寄り駅である「姫松」と、参加会員に關係のある駅が続き、「住吉島居前」では車内から名物の通称「たいこ橋」を見学、松峯副支部長が「住吉島居前」まで沿線の説明を巧妙洒脱に行い、盛り上げた。

折り返し駅となる「浜寺駅前」でのトイレ休憩の後、途中、阪堺電車の本社・車庫のある「我孫子道」で車庫見学と2度目のトイレ休憩を行い、同時に参加者全員で記念写真を撮った。

た。再び出発、車中で逍遙歌を歌おうとの提案で、全員で肩を組み大合唱となって最高に盛り上がった。「天王寺駅前」に戻った時には、用意した食べ物も飲み物もほとんど無くなって、約2時間のパーティはあっという間に終了した。

（副支部長 九之池繁二）
（松田充弘 06—6622—5580）

若手中心にビアパーティ 23人中5人が事業初参加

大阪中央支部（伊藤晃充支部長）の若手を中心としたビアパーティが、8月20日、御堂筋にあるクロスホテル大阪のレストラン「グラマラス・クロス」で開催された。参加者が23人と大人数となり、内5人が支部行事に初参加であった。また、20代の校友の参加が目立ち、非常に賑やかな集まりとなった。

幹事である上野財務副部長の挨拶の後、伊藤支部長に乾杯の発声をいただき、開宴。初参加者・20代の校友から貴重な意見をいただき、盛り上がった。途中で、余興としてクジ引きが行われた。参加者からシャンパンや洋菓子等の豪華な賞品を提供いただき、また、初参加の人が多いため、全員に賞品が当たって気持ちよく帰ってもらいたいと幹事が考え、世界各国のビール



を一人一本ずつ用意した。あつという間に2時間が過ぎ、伊丹副支部長の締めめの挨拶の後、全員で記念撮影を行って散会した。

初参加者には今回のビアパーティを一つの契機として、今後の支部行事への参加を検討いただければ、嬉しい限りである。

（財務副部長 上野和雄）
（伊藤晃充 0743—71—2285）

田中勇治氏が青春の思い 定例交流会でスピーチ

5月15日、ふうふやで今年度第1回目の鶴見支部（迫匡支部長）定例交流会を開いた。

迫支部長（40商）から26年度事業の説明などがあり、当夜のマイスピーチは田中勇治副幹事長（55院法）だった。

入学後、ラクビー部志望からチェンジして法律相談所に入

部。社会における法的な紛争を把握し、これに法理論を適用して学習の成果をあげるという目的のもと、天六キャンパス並びに夏季、地方への無料法律相談などで活動された。

部員は、1年生は100人位いたが、2年、3年と段々減っている。4年は10人ぐらいのピラミッド型、熱なき者は去れの部の教えのもと、熱く活動をした青春のおもいを語られた。特に地方への相談には、先生も同行して楽しい青春時代だったそう。また、大阪市内支部連合の田中義信会長も同級生であつたとのこと。何か、困ったことがあれば、田中副幹事に相談しようということで、全員で拍手した。

恒例のお楽しみビンゴゲームがでは、今回一番乗りは南畑で、幸運にもお米を戴いた、感謝。

また6月28日の都島支部との



合同総会では、協賛広告に全員が協賛していただき、7万円の予約が集まった。
和気藹々と宴が進み、総会並びに7月17日次回交流会での再

会を約束して楽しく散会となった。
（幹事長 南畑吉恵）
（追 匡）090-5017-8420

仕事上のライバルが集って49年

瀧川会長留任、副会長に曾奈氏就任

在阪の自動車業界に従事する校友で組織している自動車関連大会（瀧川晃会長）の第49回定時総会が、7月16日に大阪市港区のホテル大阪ベイタワーで71人が出席して開催された。ご来賓として北嶋弘一校友会副会長、中村修校友会事務局次長をお迎えした。

第1部は、学歌斉唱、会長挨拶のあと議事が進められ、25年度の事業報告、会計報告が満場一致で承認された。瀧川会長は「この会は、日ごろはライバル関係にある皆さんが集まり、情報交換をする珍しい会で、歴史も



長い来年は節目の50年を迎える。今後とも母校、関大会のため、一層の協力をお願いしたい。一致団結して自動車販売業界の発展を目指してほしい」と挨拶した。

議事は進み、任期満了に伴う役員改選が行われ、瀧川会長の留任と、田中副会長退任に伴い次期副会長に曾奈均氏が選出された。また、常任幹事も一部入れ替えがあり、新しい体制がスタートした。

第2部は乾杯の後、懇親会に移り、今年入った新卒会員7人を紹介し記念品を贈呈。また、前回好評であった卒業学部別の記念写真を撮影した。恒例のチャリティバザールも開催。出席者からさまざまな出品があり、売り手と買い手の競り合う声が飛び交う中、日頃は仕事上ライバルである会員同士がこの時ばかりは楽しく和やかなひとときを過ごした。売上金の一部は、（財）大阪交通災害遺族会への寄付に充てられる。

（事務局長 宇山幸生）
（大阪トヨペット経理部内・宇山幸生）06-6543-5215

近畿の22人中15人が出席 10回目の合格祝賀会開く

7月12日、司法書士試験合格祝賀会（兼新入会員歓迎会）が、大阪キャッスルホテルで大学から吉田栄司副学長、葛原力三法学部長、五藤勝三常任理事・法人本部長、校友会から三木允子副会長らを来賓に迎え、25年度合格者15人と会員を合わせ総勢60人の参加を得て開催された。

冒頭の中村博会長挨拶で、平成17年から始めて今年で10回目になり、第4回目の平成20年からは大学との共催となったこと、また25年度の司法書士試験出願者数は2万7400人、受験者数2万2494人、合格者数796人で、実質合格率が



3・5%となっていること、そして関大関係の合格者は近畿圏の中で22人、本日15人が参加していることを述べた。

学歌斉唱、来賓紹介の後、吉田副学長と五藤常任理事から合格者へお祝いの言葉と司法書士は職域も広がっておりこれからの活躍を期待しているとの祝辞が述べられた。最後に、三木副会長からは挨拶の後、合格者全員に記念品が贈呈された。

当会の佐竹正康相談役の発声で乾杯し、歓談に入った。

葛原法学部長の祝辞の後、本日の主役である合格者が壇上に上がり、自己紹介並びに今後の抱負等を大いに述べてもらった。そして、合格者・学校関係者、来賓を交えての恒例の記念写真の撮影を行った。

会員を代表して大阪司法書士会会長の中谷豊重参与、谷幹事、柴富副幹事長から合格者へお祝いの言葉を述べ、最後に中村会長のリードで逍遙歌を合唱し、北田五十一副会長の閉会の辞でお開きとなった。

なお、第54回定時総会は、11月8日（土）大阪キャッスルホテルで開催する。また、26年度司法書士試験合格者及び司法書士関大会（中村博会長）に入会希望の方は、司法書士関大会事務局までご連絡下さい。

（幹事長 辻井宏之）

（中村博司法書士事務所）06-6705-5678

高校における緊急支援 足利会長が特別講演講師

5月11日、関西大学臨床心理士会（足利学会長）第8回総会研修会が、関西大学で開催された。

午前の特別講演では、「臨床心理士に求められる危機対応」高等学校における緊急支援を中心に」というテーマで、足利会長からお話をいただいた。高等学校における緊急支援プログラムの実際について、教職員生徒、保護者への対応例を挙げて話を進められ、わかりやすく解説をしていた。

午後からは、2つの分科会が行われた。分科会1では、澤村律子会員から「心理検査における所見の書き方」というテーマ



で講義をいただき、分科会2では、榎本正己先生から『聴く』専門家の『伝える』力〜プレゼンテーションのコツ』というテーマでお話しをいただいた。どちらの分科会でも、フロアーとの活発な議論が行われた。

本研修会が、今後も会員相互の研鑽および連携に寄与することを願っている。

（幹事 宮田智基）
（関西大学心理相談室内Ⅱ06—6368—0278）

浅田真央選手の復活など 校友の佐藤コーチが講演

関西大学経済人クラブ（栗原照次郎会長）第202回例会が、6月16日に大阪新阪急ホテルで開催され、池内啓三理事長、寺内俊太郎校友会長、一軸浩幸・上原洋允・畑下辰典・森本靖一郎当クラブ名誉顧問らの来賓と、新入会員8人、特別参加者を含め89人が出席した。

26年度第1回例会のため、最初に総会を開催。25年度事業報告、収支決算報告、規約改正が満場一致で承認された。

講演に移り、本学OBで、フィギュアスケート選手として1960年、64年の冬季オリンピック出場、全日本選手権10連覇の偉業を持ち、最近では浅田真央選手のコーチとして脚光を浴びておられる佐藤信夫氏に、「浅

田真央と共にソチ冬季オリンピックを戦って〜フィギュアスケート歴60年を振り返りながら〜」というテーマで講演いただいた。

佐藤氏は、フィギュアスケートの歴史から話を始め、選手時代のエピソード、引退後のコーチとして人を育てる方法、オリンピック・世界選手権など世界で活躍する選手の育成方法、最後にソチ冬季五輪での浅田選手のショートプログラムとフリーでの復活についてのエピソード等を話された。

その後、講師を囲んでの懇親会では、来賓挨拶、新入会員紹介など各種の交流が行われた。なお、例会の様子はHPにも掲載していますので、ご覧ください（<http://ku-keizaijincub.jp/>）

現在会員数は129人、第203回例会は9月6日に、第204回例会は11月10日に開催を予定している。

（代表幹事 本間敏司・昭61工）



（関西大学校友会気付Ⅱ06—6368—0041）

卒業60周年で有馬温泉へ 「百歳は人生の通過点」

天候に恵まれた7月9日、二九千里会（大村計治会長）では、卒業60周年記念旅行を実施、バスで阪急三番街を出て有馬温泉へ向かった。

河合氏紹介のメンバー制ホテル・エクシブ有馬離宮のイタリア料理「リストランテ マレッタ」にて昼食。イタリアワインを飲みゴージャスな気分での庭園を眺め、卒業60年の思い出話や、武智氏の「百歳は人生の通過点である」との健康談話がいった。

その後、有馬温泉、有馬の町を散策し、日帰り組と宿泊組とに別れ解散した。

（旅行幹事 坂田峰朗）
（高橋一夫Ⅱ0797—86—8618）



宮本教授が関西経済の活性化で講演

役員改選では北嶋弘一会長を再任

26年度の博修士会（北嶋弘一会長）総会は、関西大学校友・父母会館で、池内啓三理事長、前田裕副学長、寺内俊太郎校友会長らを来賓に迎え、7月26日開催された。

総会は、黙祷と学歌斉唱を行った後、前田副学長と寺内校友会長の挨拶をいただいて始まった。議事では、25年度事業報告と収支決算報告、26年度予算案を全員一致で承認し、役員改選では北嶋会長を再任した。

続く学術講演会では、会計専門職大学院の宮本勝浩教授から「アベノミクスと関西経済の活性化策」と題して講演をいただいた。

講演では、2020年の東京オリンピックを関西地区の第4



の矢とすべく、関東とのコネクションを持つことや、官民一体となつて諸外国に観光誘致を行うことが提案された。また、人口減少対策では、安全・安心の住みやすい場所を目指すことが重要であり、関西が活性化するには、東京の真似ではなく、新商品などのアイデアの創造が必要であることが分かり易く述べられた。

最後に、日本の成功者は「運」を大切にしている。関西大学で学んだ幸運と人的ネットワークを駆使して「運」を呼びこむことが大切であると締めくくられた。

講演後にレストラン「紫紺」で開催した懇親会は、池内理事長の「強い関西大学」の掛け声による乾杯で始まり、終始和やかな宴を過ごすことができた。

（篠塚義弘・平20会計）
（システム理工学部専任講師緒方正則Ⅱ06—6368—1121）

現役が力強い演舞演奏 母校で総会及び懇親会

7月12日、千里山キャンパスの100周年記念会館で應援團OB・OG千成会（I部）（吉田衛会長）総会及び懇親会が開

催された。

懇親会では、藤田副会長の開会の辞から物故者への黙祷、現役92代黒澤団長の指揮による学歌斉唱、吉田会長の挨拶へと続いた。

来賓の方々からは、応援団に対する熱いお言葉をいただき、私自身、コーチとして身が引き締まる思いであった。

現役への援助金贈呈の後、関西大学小坂顧問の乾杯で、懇親会へと入った。

現役応援団からは、恒例となる力強い演舞演奏で花を添えていただいた。黒澤団長の鯉の滝登りでは皆が舞台へと集中し、伝統の拍子に会場全体が酔いれた。

最後は全員で大団円となって追遙歌を歌い、中川会長代行の閉会の辞をもってお開きとなった。

現役あつての千成会、これからも現役応援団の躍進に期待したい。
(幹事 八田敏裕)
(坂上治) 090-8527-4270

参加者初の150人超え 130周年に向け募金も

スポーツマンクラブ(中井邦夫会長・2部体育OB会) 第49回七夕総会を、7月7日にホテル阪神で開催した。年に一度、何が何でも「七夕」に開催し親



交を深める場だ。今回、初めて参加者が150人を超えた。

1部総会では、活動報告、会計報告・監査報告、そして活動計画、予算案について、賛成多数で承認。

2部懇親会は、まず中井会長の挨拶、来賓紹介の後、上原洋允法人相談役と寺内俊太郎校友会会長から熱いご挨拶をいただいた。続いて、小坂道一法人顧問(当会最高顧問)の乾杯で宴が始まった。

毎年、頭を悩ますアトラクションだが、今回は、II部応援団の流れをくむチアリーディーン・グサークル・クレアーズの演舞とII部OBでシンガーソングライター、筒井紀則さんのライブで盛り上がった。また、ステージに上がって歌えるコーナーでは、一昨年のカラオケ大会で優勝した永遠の乙女のご来賓を始め、比較的若手の会員も肩を組

んで歌うなど会場がひとつになったと思う。

さらに、創立130周年に向けて募金活動等を行うなど有意義な七夕総会にもなった。

総会が終わって数日後、我われの学び舎・天六学舎の売却が発表された。寂しい想いはあるが、「ALL関大」の精神で来年の50回記念七夕総会を、不滅のII部魂をアピールできる気合のはいった総会にしたいと思う。

来年も7月7日(火)に開催する。皆さま、引き続きよろしくお願い申し上げます。

(事務局長 小早川勝己)
(関西船用気付) 06-6572-1021

大阪のおさかなクン講演

元大阪府水産課の大野氏

天六同友会(水上義博会長)

は、6月21日にシティプラザ大阪で第41回総会を開催した。来賓には、校友会本部から田中義昭副会長、盟友団体であるスポーツマンクラブ並びに応援団OB長柄会代表を迎え、会員30人が出席して行われた。

総会は3部構成で進められ、第1部では25年度の事業報告・会計報告の承認の後、26年度の事業計画が承認された。

第2部の記念講演は、会員でもある大野雅司氏が「大阪府水産課勤務から見えてくるもの」



と題し、以前勤めておられた時の経験等を披露。大阪湾や大阪の漁業の現状から私たちが口にする大阪湾の魚の話まで、テレビのおさかなクンよろしく面白おかしく解説。50分ほどの時間は、瞬く間に過ぎてしまった。

第3部の懇親会は、来賓を代表して田中校友会副会長の挨拶の後、佐藤幸平氏の発声による乾杯でスタート。リレー形式の会員のスピーチや各テーブルでの話も盛り上がり、途中、天六学舎売却について熱く思いを語られる来賓の話も、皆が聞き入る場面もあった。最後は、来賓の応援団OB長柄会、高副会長のリードで追遙歌を全員で熱唱して幕を閉じた。
(松永明)
(水上義博) 072-635-2147

発足50周年記念事業を 役員補充し会長が表明

7月6日に中華料理・大東洋で、26年度文化会OB会・葦文会(渡部基義会長)の総会が開催された。

参加者は、19人、来賓3人、現役文化会本部学生3人の計25人であった。

今回の総会では新役員の補充があった。三坂友章(62卒)、宮西浩則(平20卒)が副会長に、関敦生(平4卒)が幹事長として選任された。

また、渡部会長から葦文会発足50周年、関西大学創立130周年に向けての葦文会事業を開催したいと決意表明もあった。アトラクションとして、ギタークラブによる演奏があった。同クラブは、今年3月16日にクレオ大阪南で開催された、日本ギタースタンプルフェスティバルの合奏の部で銀賞を受賞して



いる。

その後、懇親会が開催され、親睦を深めた。

（副会長 三坂友章）

（三電社内）06-6452-2210

恩師は傘寿にして豊饒 40年ぶり含め総勢43人

一年振りの廣田会（大谷啓二会長）総会だが、88歳になる師の姿は美しく豊饒としている。期せずして今日は奥様の月命日だと知ったのは、先生のお話に出てきたから。

出席者の前に並ぶ膳部は、出席してくれた人たちに楽しんでもらいたい大谷会長の気持ちで判る心づくしだ。大谷会長の開会の辞から・第一期卒・倉田雄司先輩の乾杯の音頭を終え無礼講となる。40年振りに出席した者も何人かはいる総勢43人が歓談している。



石原先輩の口上と大谷会長の掛け合いの声で逍遙歌を歌い、集合写真を撮影して中締め・オヒラキとなった。

お昼から始まっているので空には今も赤い陽が輝いている、皆は何処まで行くのかな？最後は漱石の句で報告を終わります。『永き日やあくびうつとして分れ行く』（南菜二）

千里山で浦島太郎の心境 卒35年で恩師に「恩返し」

6月21日、大阪・瓦町の楽酒活業・武者で、経済学部小田ゼミの昭和55年卒業生による同窓会を、卒業後35年ぶりに開催した。

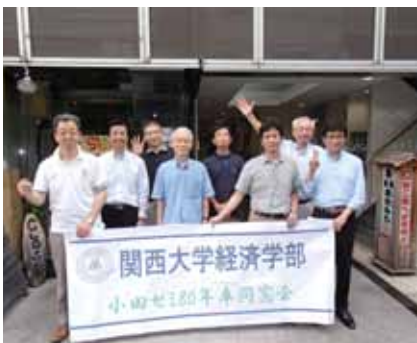
卒業後初めての同窓会だったが、当日はゼミ生12人中7人が大阪に集まり、80歳をお迎えになる小田正雄先生（元経済学部）の傘寿をお祝した。

ゼミ生も現在では全国に点在しており、今回は東京在住の4人も駆けつけるなどして、35年ぶりの再会を喜んだ。小田先生も毎日の散歩を日課とされるなど健康で、元気に参加していた。

この日、ゼミ生5人は午後2時に関西大学正門前に集合、第一部として久しぶりに訪れた母校・千里山キャンパスを見学した。初めに大きな正門や時計塔、素晴らしい総合図書館の風景に驚き、次に学生時代にはコンクリートむき出しだった経商学舎が、新たなレンガ・タイル張りのモダンな建物に変わって、当時は珍しかった女子学生も今では多く歩く光景に、私たち50代後半の卒業生は、まるで浦島太郎のような心境となった。

その後、阪急梅田駅で小田先生と待ち合わせ、午後5時には、ゼミの後輩で応援団吹奏楽部OBの井上武者さんが経営する店に現地集合のメンバーも駆けつけて、まずは記念撮影。

同窓会では、小田先生のスピーチの後、卒業生から小田先生の傘寿祝いとして、15インチデジタルフォトフレームに学生時代のゼミ旅行や卒業式の写真データを入れて、先生へ贈呈した。また、学生時代のゼミ生の似顔絵を描いた色紙も、参加者がメッセージを書き込んでプレゼント。今や壮年のゼミ生たちは、卒業後35年も経って、ようやく



恩師への「恩返し」が出来たと感じた。

ゼミ生各々のスピーチからは、就職後に転職や会社倒産、会社の上場や経営統合、外資からの企業買収など波乱万丈の会社人生が披露されて、35年の月日の長さそれぞれが頑張ってきた日本経済の激動の歴史をも感じさせるシーンともなった。

武者さんの美味しい料理とたくさんのアルコールや、学生時代の楽しい思い出話で大いに同窓会も盛り上がったところで、最後に小田先生から美味しい加西市の銘菓と「感動と感謝」と書いていただいた色紙を各自頂戴して、無事同窓会を終了した。

次回は、小田先生の卒寿祝いで、全員元氣にお会いしたいと思います。（前畑忠憲）

現役に活動支援金を贈呈 先輩・後輩・現役が懇談

6月21日、睦法会（赤松建美会長）会員37人、千里山法律学会会員8人の出席の下、ヴィアール大阪で総会を開催した。

第一部総会は、苗田幹事の司会で開会。赤松睦法会会長・葛原千法会会長・中野寛成参与の挨拶の後、会則に則り田中幹事長が議長となって議事に入った。

提案された25年度事業報告、

会計報告・監査報告、26年度事業計画案、予算案は、いずれも原案通り承認された。続いて、赤松会長から千里山法律学会の戒井幹事長に、今年度の千里山法律学会活動支援金として10万円を贈呈した。

第二部は、34年卒の杉本和憲氏から「コンプライアンスとは何か」をテーマに、講演をいただいた。通常コンプライアンスとは「法令遵守」と言われているが、法令があつてそれを順守することがコンプライアンスではなく、先に行動規範・倫理要領の行動規範がありそれを実現する手段の1つが法令等であつて、その時々のコンプライアンスの変化に合わせて変化するとの説明があつた。

第三部の懇親会は、先輩・後輩・現役の懇談会となり、学生時代の思い出話等に話が弾む



中、オークションとビンゴゲームのお楽しみ会もあって、しばし交流会が続いた。最後は円陣を組み葛原教授の口上で逍遙歌を大合唱してお開きとなった。

(主原信宏)

「六甲・有馬・三宮」 朝・昼・夜の神戸三昧

応援団および体育会各部の昭和61年卒業生で設立した関西大学六一会(今泉昭彦会長・体育会本部長)は6月7日に「六甲山の朝、有馬温泉の昼、三宮の夜」をテーマに卒業28周年懇親会を開催した。参加した21人が学生時代へ思いを馳せ、近況を語り合い、親睦を深めた。

朝・昼の部で山歩きコースに挑んだのは井阪浩明(器械体操、入江吉弘(バスケットボール)、木下功(庭球)、谷口欣久(柔道)、葉上正樹(漕艇)、東畠憲之(柔道)の6人。阪急岡本駅より3時間半をかけて六甲山最高峰を目指した。ケーブルコースには伊藤裕子(自転車)、前田眞理子(馬術)の女性陣が参加し、1時間半の道のりにトライ。一行は途中で激しい雨に遭遇したり、急坂に苦勞したりしたもの、8人全員が無事に山頂へ到着した。達成の喜びをビールで祝った後に有馬温泉へ下山。心地よく疲勞した体を温泉の湯で癒し、至福の時を



味わった。

夜の部は、神戸の八百屋農園で懇親会を開催。今泉会長(野球)が「今年は全員50歳を超えた。再来年は六一会も30周年。生きてる限り続けよう」と力強く挨拶。久しぶりの参加の海野太(レスリング)、喬秀晴(アイスホッケー)、神藤典子(ハンドボール)らの元気なスピーチ。5年ぶりに元気な顔を見せた明石博道(アイスホッケー)が「資格を取り社会保険労務士として活動し、独立を目指している」、東京から駆け付けた長久佳宏(器械体操)は「レスリングのマスターズの大会で優勝した」と新たな挑戦で結果を出したことを報告した。

締め括りは、長久佳宏のリードで全員肩を組んで逍遙歌を合唱。母校関西大学の体育会で築いた連帯感を再確認する一日となった。

なった。

今年から世話人を当番制とし、木下、伊藤、入江が担当し、半年前から毎月集まり、現地調査を重ね当日を迎えた。今回は井阪、下條芳浩(野球)、葉上に託した。

(世話人代表 木下功・庭球)

(関西大学六一会「ku61kai@gmail.com」)



8年ぶりに団体戦で優勝 個人戦でも北村氏が栄冠

毎年、8月8日開催の関西

をされ、大会を大いに盛り上げてくれた。

その甲斐あって、何と個人戦と団体戦で優勝し、他校を圧倒する完全優勝を飾った。

個人戦の優勝者は北村亨司氏(44文)、団体戦のポイントゲッターは優勝者の北村、準優勝の浅野信吾(61商)、吉崎英彦(平2経)、巻木通浩(57法)の



4人だった。

わが校の団体戦優勝は8年ぶり、前回優勝の折には当時の森本理事長も参加され、叱咤激励がもの見事に効いた大会となった。

表彰式を兼ねた懇親会の司会者は吉田雅典氏(62社)氏で、軽妙な司会振りは優勝校を盛り上げ、それ以上に会場全体を盛り上げ、各校とも「来年こそはわが校が」との強い誓いを立てられたことだろう。

15回記念大会として、個人表彰はグランドシニアの部、レイスの部にも授与され、中でもレイスの部では優勝(総合順位133位)の衣原希和さん(立命・平17卒)と準優勝のわが校の江原みどりさん(平6商)に授与された。このユーモラスな表彰に、会場は割れんばかりの拍手と歓声に包まれた。

はちほち会(8月8日)はこうして閉会となったが、いちいちち会(11月11日)も、幹事校であるわが校がしきることになっており、またまた、楽しみな会になりそう。

(北海道支部広報担当 大坊健二)

珍プレー好プレー続出 41人が楽しくラウンド

6月11日、二部OB団体のスポーツマンクラブ、天六同友会、応援団OB長柄会が共催する三

部合同ゴルフコンペが、宝塚市の愛宕原ゴルフ倶楽部で開催された。

絶好のゴルフ日和に恵まれ、綺麗に整備されたコースコンディションのもと、法人、校友会、そして友好団体である体育OB・OG会、応援団OB・OG千成会（I部）等からも参加していただき、総勢41人が熱戦を繰り広げた。スタート前に森本顧問が励ましに駆けつけ、く

ださり、校友ならではの和やかな雰囲気の中、珍プレー、好プレー続出の楽しいラウンドとなった。

ホールアウト後の懇親会は、馬淵長柄会副会長の指揮による学歌斉唱で開会。今回の幹事団体である長柄会・大谷会長の挨拶に続き、池内理事長、寺内校友会長から挨拶をいただき、小坂最高顧問の乾杯で開宴した。今日のプレーを振り返り、お腹



も満たされたタイミンングでいよいよ表彰式。熱戦の結果は、優勝及びベストクロス賞が肩荷利勝氏（長柄会）、準優勝が海蔵寺浩氏（体育OB・OG会）、三位が小谷晃生氏（長柄会）であった。

三部の各会長賞など数多くの賞が次々と発表され、会場は大きな拍手に包まれた。余韻の残る中、コンペ参加者から母校創立130周年記念事業への一助として募金が集められ、寺内校友会長に手渡された。

締めくくりに長柄会久保幹事の指揮による道遥歌を高らかに歌い上げ、次回の再会を約束し散会した。

（長柄会広報部長 樋口弘三）

合同でゴルフ―泊懇親会 紀州の青空の下でプレー

4月22～23日、南紀白浜で秀麗寮士会関西支部（小坂修二



支部長）とよさん会（昭43年卒の同期会）合同のゴルフ大会・一泊懇親会を開催した。

九州、四国、関東からの参加もあり、前夜祭では白浜の湯もそこそこに、喜寿を過ぎた3期生（34年卒）から17期生（48年卒）の若さあふれる23人が大いに飲み、語り合い、時の経つのも忘れて盛り上がった。同じ釜の飯を喰った者同士、寮を愛し、仲間を思いやる気持ちは変わらぬままである。

校友トピックス

元大阪高検検事長の 中尾巧弁護士が個展

元大阪高等検察庁検事長で、退官後は弁護士として活躍の中尾巧氏（なかお・たくみ）昭45学法）が、「四季折々 澄んだ空気と光の中で」と題した初の



「ベルギー運河」(2012)

翌日のゴルフ大会は紀州の澄み切った青空の下、存分にプレーし、実力を発揮しあった。優勝は小柳節夫さん（43経）、準優勝は吉野光正さん（43経）だった。

秋にはお互い、さらにレベルアップしたプレーを披露することを誓い合った。大いに期待している。

（市場康雄・44法
（市場康雄）06―6330―6090）

水彩画の個展を開く。

中尾氏は、絵画の趣味を生かし、裁判員制度の広報用のポスター・絵葉書・チラシを作り配布したこともある。

個展は、10月7日（火）から12日（日）まで、大阪市北区中之島のリーガロイヤルホテル1階・リーガロイヤルギャラリーで開かれ、時間は午前10時から午後6時まで（最終日は午後5時まで）。

ベルギー・パリ・北海道などの風景を爽やかなタッチで描いた37作品を展示するが、中尾氏の著書、「検事はその時」（PHP研究所）、「中之島の風景」（商事法務）、「弁護士浪花太郎の事件帖」（法学書院）の表紙絵・挿絵の原画も多く含まれているとのこと。

新刊



紹介

吉野伊佐男（昭40学商）著
『情けと笑いの仕事論―吉本興業会長の山あり谷あり半生記』



ヨシモトブックス刊
ワニブックス発売
定価1400円＋税

自称「吉本で一番おもしろい男」が、「非常におもしろい本」を出版した。

この本は、日本一のエンタメ会社である吉本興業の統帥現会長の吉野伊佐男氏の著作である。昭和40年関西大学商学部卒業である。それよりも氏はグリークラブ卒部（15期）で、僕は同期である。卒業数年後、氏からの連絡で要件は忘れたが一度会社を訪問した

本名は市川陽一さん。社会学部を卒業し、社会科教員として長年高校の教壇に立ち、公立と私立の校長を務めて教育界を退く。特に、進路指導

の象徴、人間の尊厳をかけた高校生との恋愛を描こうとしている。女性の立場から、恋愛は結婚に向き合い、結婚は出産子育ての喜びを前提にするとの信念で、学生結婚の道を開こうとする意欲作だ。高校生同士が性愛を通して人間らしい成長を遂げるにしても、当事者が結婚出産の責任をすべて引き受けるのは現実的ではないだろう。高校生・大学の保護者世代が積極的に子

本願所に関する論稿では熊野本願が社家との関わりの中から果たした宗教的活動・

本書を通して、歴史のなかで育まれた希有の宗教文化の諸相を、身近なものとして感じ取ることができたらう。

すばる舎リンケージ刊
定価1500円＋税

(株) 荒田経営代表取締役
として、荒田マネジメント研
究所所長として、40年以上に
わたる経営コンサルティング
の経験から、著者は「会社を
繁栄させるのも『人』ならば
衰退させるのも『人』である。
その中でも経営者の役割は最
大で、極言すれば『会社は経
営者の芸術品である』と断言
できる」ように。

伸びる会社とダメになる会社、その第一の違いは「社長」の質にある。経営者が経営者として「愛」と「情熱」を持ち、相応しい「哲学」を身につけているかで運命が決まる。経営者は、如何なる時でも、しっかりと行く先を見定める哲学と眼力が必要であると説いている。

副題に「どんな時でも揺るがない 強く永く続く会社の

経営者が持つべき視点」とある本書は、序章・社長として人として身につけたい「最低限」のこと、第1章・会社を成功に導く社長の「指針」、第2章・迷った時の打開の「ヒント」、第3章・企業にとっていちばん大事なのは「人財」、第4章・業績を上げ社内の雰囲気も変わる「仕組み」、第5章・会社を活性化させる「リーダー」を育てる、の6章からなっている。

時代がどんなに変わろうとも、外してはならないことが凝縮されており、「先憂後樂」で日夜苦勞している経営者の一助になる経営書であると同時に、「何よりも社員の喜ぶ顔が見たい!」そんな経営者を応援する一冊となっている。

(S • N)

上田 明(昭39学商) 著

『歌人日記』その五



文芸社刊
定価1000円＋税

本書は、著者が一日4首ずつ欠かさず詠み続け、その中からさらに厳選する形で一年に一度編まれる歌集の第五巻です。

作中の短歌には、決して大きな出来事があるわけではなく、時事的な出来事や自然の移り変わりといった市井の人の日常を詠んでいます。その眼差しは常に温かく、自らの外の世界に対して真剣です。社会への物言いは率直で時に辛辣ですが、根底には人々への愛があります。また、人や自然の中に心をつつ詩情を敏感に見出し、感性豊かな筆にのせるフットワークの軽さには目を瞠るものがあります。

文章表現は、技巧に溺れることなく平易で詠みやすく、同時に的確かつ味わい深い言葉が心を込めて厳選されています。誰もが頷けるような思いを日常よく耳にする言葉で親しみやすく詠んだかと思えば、次には日本人ならではの幽玄な感性で自然を美しく伶俐に活写し、また次には人の世の侘びさを「これぞ」という言葉で的確に射るように描いてみせるのです。

毎日、絶えずアンテナを立てて、様ざまなこともを詠歌へとつなげていく姿勢が、こうした多彩で視野の広い作

品を生み出すでしょう。

娯楽としての読書が幅をきかせ、文学という楽しみが世から幾分忘れられ気味な昨今、読者を選ばない平易さと、芸術としての高邁さを併せ持つ本書のような文学作品こそが、多くの人に読まれるべきものとして、広く紹介されてほしいと思います。

(文芸社第二編集部 佐々木亜紀子)

お悔み申し上げます

小栗克彦氏（おぐり・かつひこ）昭51学工）平成25年10月12日死去。61歳。半田市。

昭和48年大田区議会議員に就任。その後、市議、県議を経て平成元年から平成26年まで、連続して17回、衆議院議員を務めた。平成26年3月4日死去。97歳。八尾市。

耕三寺弘三氏（こうさんじ・
こうぞう）旧姓金本昭次郎。
昭26学商、耕三寺博物館元
館長）4月12日死去。85歳。

尾道市。

西村良三氏（にしむら・りょうぞう）昭36学経 5月25日死去。76歳。吹田市。

内田英昭氏（うちだ・ひであき）昭38学法）6月26日死去。73歳。奈良県三郷町。

田原孝平氏（たはら・こうへい）昭27学法、田原商事

【訂正】前号(第582号) 暑中見舞名刺広告の中で、司法書士欄・佐和田丸氏のE-mailがmatui122@nifty.comとなっていました。正しくはmatui122@nifty.comと訂正します。お詫びし、訂正します。

(有) 取締役社長 7月8日
死去。89歳。伊丹市。

森位弘治氏（もりい・ひろじ）昭16閏甲・23大経、元森位小兵衛商店取締役社長、元北支部支部長、元校友会代議員）7月17日死去。90歳。西宮市。

松田好晴氏（まつだ・よしはる）元工学部教授、専門は電気化学でリチウム電池研究の草分け的存在。7月18日死去。82歳。吹田市。

岸本明夫氏（きしもと・あきお）昭28学2経、ニッカトー相談役・元社長）7月21日死去。88歳。尼崎市。

右島洋介氏（みぎしま・ようすけ）名誉教授・元文学部教授、専門は教育学） 8月13日死去。91歳。奈良市。

【本部関係】

- ▷ 第四回関大寄席 10月11日(土) 10:00 天満天神繁昌亭
- ▷ 平成26年度校友総会 10月19日(日) 12:30 BIGホール100
- ▷ 平成27年校友会新年互礼会 平成27年1月15日(木) 18:00 大阪新阪急ホテル
- ▷ 第104回定時代議委員会 3月28日(土) 13:00 100周年記念会館

【地域支部】

- ▷ 東播支部総会 9月24日(水) 18:45 加古川プラザホテル(角谷賢造=079-448-7142)
- ▷ 吹田支部総会 9月27日(土) 14:00 メイシアター(奥谷英夫=06-6836-6870)
- ▷ 豊中支部30周年記念総会 9月27日(土) 17:00 千里阪急ホテル(横昌正秀=06-6331-2275)
- ▷ 天王寺支部総会 9月27日(土) 18:00 ホテルアウィーナ大阪(北原正浩=06-6771-9789)
- ▷ 関関同立大交流会in静岡2014 10月4日(土) 15:00 中島屋グランドホテル(山口健一=054-245-2854)
- ▷ 西宮支部80周年記念総会 10月4日(土) 17:30 ノボテル甲子園(栄興電機工業・小坂圭一=06-6491-5301)
- ▷ 川西支部設立60周年記念総会 10月4日(土) 18:00 アステ市民プラザ(8,000円、現役は無料。荒木敏雄=072-758-1787)
- ▷ 枚方支部総会 10月11日(土) 17:00 北大阪商工会議所大ホール(6,000円、永盛啓司=06-6170-4864)
- ▷ 宝塚支部総会 10月11日(土) 18:00 宝塚ホテル(塚本壽一=0797-85-1491)
- ▷ 長崎支部総会 10月17日(金) 時間未定 銀鍋(濱脇哲夫=095-826-1314)
- ▷ 生駒支部総会 10月18日(土) 11:00 近鉄生駒駅前・たけまるホール小ホール(藤俊弘=0743-79-5157)
- ▷ 大分千里会総会 10月18日(土) 18:30 場所未定(徳重忠男=0977-27-8700)
- ▷ 鹿児島千里会校友の集い 10月24日(金) 18:00 ジェイドガーデンパレス(6,000円、時任博幸=090-4581-7092)
- ▷ 三重中勢支部総会 10月25日(土) 11:00 プラザ洞津(森貞弘=059-231-0295)
- ▷ 首都圏支部連合会総会 10月25日(土) 13:00 関西大学東京センター(関西大学東京センター=03-3211-1670)
- ▷ 箕面支部総会 10月25日(土) 17:00 大江戸温泉物語箕面観光ホテル(日産チェリー箕面販売・藤元尚宏=072-722-5581)
- ▷ 宮崎千里会総会 10月25日(土) 17:30 ウェルシティ宮崎(前村幸夫=0985-28-2232)
- ▷ 大阪中央支部総会 10月25日(土) 18:00 シティプラザ大阪(伊藤晃充=0743-71-2285)
- ▷ 西淀川支部総会 10月25日(土) 18:00 梅田・ブリーゼプラザ8階(西山正明=090-3034-8095)
- ▷ 宮城支部再建総会 11月1日(土) 時間・場所未定(安斎政司=022-367-4828)
- ▷ 愛知支部総会 11月7日(金) 18:00 名古屋観光ホテル(杉本会計事務所・杉本秋男=052-332-0211)
- ▷ 生野支部総会 11月8日(土) 18:00 杯杯天山閣(西田隋善=06-7850-5671)
- ▷ 平野支部総会 11月8日(土) 18:00 ホテル阪神(8,000円、学生および平成24、25、26年卒校友は無料+年会費2,000円。田中義信法律事務所=06-6316-0348)
- ▷ 奈良県関大倶楽部総会 11月9日(日) 17:00 ホテル日航

奈良(森川育明=0743-74-3939)

- ▷ 岐阜千里会総会 11月15日(土) 16:00 岐阜グランドホテル(松村工業・疋田=058-271-3912)
- ▷ 備後支部創立75周年記念総会 11月15日(土) 17:00 グリーンヒルホテル尾道(福山包装・畦崎雅則=0849-43-1741)
- ▷ 篠山支部設立総会 11月15日(土) 17:00 ユニトピア篠山(中瀬和夫=079-594-2822)
- ▷ 高石支部総会 11月15日(土) 18:20 アプラたかいし(睦田弘行=072-263-8954)
- ▷ 山口千里会総会 11月15日(土) 18:30 新山口駅前・山口グランドホテル(北乗吉道=0839-86-2626)
- ▷ 神戸支部親睦ゴルフ大会 11月18日(火) 8:00 三木セブンハンドレッド倶楽部(参加費2,000円+プレー費9,795円。東光商会Fax=078-453-2171、kandaikobe@gmail.com)
- ▷ 高知支部総会 11月22日(土) 17:00 浪漫亭(岡内紀雄=088-873-3270)
- ▷ 泉南支部創設30周年記念総会 11月30日(日) 11:00 スターゲイトホテル関西エアポート(記念講演・宮本勝浩会計専門職大学院教授。築野由照=072-476-1782)
- ▷ 神戸支部新年互礼会 27年1月24日(土) 16:00 神戸東急イン(7,000円。東光商会Fax=078-453-2171、kandaikobe@gmail.com)

【職域会ほか団体】

- ▷ 29年学部卒・卒業60周年記念大会 9月24日(水) 16:00 大阪キャッスルホテル6階(武智虎義=06-6582-2891)
- ▷ 大阪青年会議所関大会総会 9月26日(金) 19:00 日本料理・八幸(中井光法律事務所=06-6363-0114)
- ▷ 故上林良一先生追悼の会 9月28日(日) 大阪新阪急ホテル2階花の間 ①お別れ会 10:30~12:30(時間内にご都合にあわせてご参列下さい)、②偲ぶ会 13:30~(会費制)(政治学会事務局・吉田之計法律事務所=06-6366-0781)
- ▷ 体育OB・OG会第35回親睦ゴルフ記念大会 10月8日(水) 愛宕原ゴルフ倶楽部(西田幸弘=06-6672-2596)
- ▷ 大阪家事調停協会関大会総会 10月9日(木) 18:00 ホテルプリムローズ大阪(鍋島均志=072-221-5269)
- ▷ 応援団OB長柄会(II部)第70回総会 10月11日(土) 18:00 大阪新阪急ホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)
- ▷ 関大法曹会総会・司法試験合格者祝賀会 10月15日(水) 18:30 大阪新阪急ホテル(尾崎法律事務所=06-6363-2870)
- ▷ スポーツマンクラブゴルフコンペ 10月18日(土) 岸和田カントリークラブ(小早川勝己=090-3169-8852)
- ▷ 行政書士秀麗会総会 10月18日(土) 17:00 大阪キャッスルホテル(奥田行政書士事務所・奥田聡=072-928-7750)
- ▷ 昭和38年卒体育会・応援団第11回同期会 10月22日(水) 18:00 阪急グランドビル27階・グランド白楽天(6,000円。野球部・草川雄二=090-9217-5745、アイススケート部・岡橋庄二郎=090-1675-8675、射撃部・女川隆=090-3274-4038)
- ▷ 司法書士関大会第54回総会 11月8日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所・中村博=06-6705-5678)
- ▷ 南都銀行関大会総会 11月14日(金) 19:00 天王寺都ホテル(堺支店・西田文浩=072-224-7730)
- ▷ 関大不動産鑑定士クラブ総会 11月15日(土) 時間・場所未定(笠井不動産鑑定・笠井靖彦=06-6311-1205)
- ▷ 少林寺拳法創部50周年記念式典・懇親会 11月22日(土) 13:00 100周年記念会館

100%
手作りの
お世話[®]

成婚率の高さが決め手
コンピューターを一切使わず、すべて100%
手づくりの誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれた
ご紹介を重視し、無駄のないお出合いを実施して
います。ご成婚重視のため、他社との連携は一切
いたしておりません。

Marriage Road[®] 結婚

—— エムロードはここが違います ——

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------------|
| 1 成婚率の高さ | 2 質の高い会員層 | 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話 |
| 4 自社会員のための構成 | 5 格式あるお見合いパーティー | 6 安心の均一料金システム |

よいふうふよろしく
0120-4122-46 10:00~18:30
水曜定休

資料無料

●ドクターズコース
●スタンダードコース ●シニアズコース

大阪 NU 茶屋町プラス最上階 (3101) 神戸 神戸国際会館 17F 京都 オフィス・ワン四条烏丸 6F

エムロード 結婚

検索

未来への先駆を担う、「総合生活産業」の リーディングカンパニー。

1992年の設立以来、日本エスリードは「住む人の立場に立った住まいづくり」という理念を基に総合ディベロッパーとして確固たる信頼を築き上げてまいりました。創業20周年という節目を越えてはや2年。これからも良質なマンション開発、ニーズを的確に捉えた企画・提案、きめ細かな活動・アフターサービスなどを通じて新しい価値を創造。積み重ねてきた経験と実績を礎に、グループ全体で“総合住宅産業”の充実をはかり、長期的な成長を遂げてまいります。

日本エスリード株式会社

現在分譲中のラインナップ



エスリード西宮甲陽園



エスリード弁天町セリア



エスリード葦島セリア



エスリード伏見桃山グラセント



エスリード塚本グラセント



エスリード姫路



エスリード伊丹郷町



エスリード王寺



エスリード京都洛南

お問い合わせは **0120-058-570**

ホームページは eslead.co.jp

事業主(売主)

国土交通大臣登録(5)第5489号
(公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟(一社)不動産協会会員
東京証券取引所1部上場

日本エスリード株式会社

〒563-0003 大阪市福島区福島6-25-19
TEL.06(6345)1880(代) FAX.06(6345)1770